

更新日時：2021/07/21

株式会社アクセス

# ACSIM-LITE

## — 資料 —

掲載資料一覧

ACSIM LITE 「設置・初期設定」	P.2
PlayStation 「ACSIM との接続」	P.17
STEAM 「セットアップ」	P.27
ACSIM(制御ソフト) 「アプリケーション説明書」	P.42



# ACSIM LITE

「設置・初期設定」

## 目次

1. 安全にお使いいただくために必ずお守りください .....	4
2. パッケージ内容 .....	7
3. 接続方法 .....	8
4. 接続部分 .....	9
4.1. アクチュエータコントローラ .....	9
4.2. アクチュエータ .....	9
4.3. コントローラ .....	10
4.4. USB serial ケーブル接続部分 .....	10
4.5. 電源 .....	11
5. セットアップ .....	12
5.1. セットアップディスク内容 .....	12
5.2. 準備 .....	12
5.3. ドライバのインストール .....	12
5.4. アクチュエータ制御アプリ (ACSIM) のインストール .....	12
6. セットアップ確認 .....	13
6.1. コントローラの電源を入れる .....	13
6.2. コントローラを PC へ認識させる .....	13
6.3. ACSIM のメイン画面の確認 .....	14
7.1. アクチュエータ設定 .....	16
7.2. Plugin のインストール .....	16

# 1. 安全にお使いいただくために必ずお守りください

本マニュアルには、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守って頂きたい事項を示しています。

使用している表示の意味



**警告**

絶対に行ってはいけないことを記載しています。

人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

人が軽傷を負う可能性が想定される内容、物的損傷が発生する内容を示しています。

### 図記号の説明

- 警告・注意を促す記号
  - 発火注意
  - 感電注意
  - 高温注意
  - 破裂注意
- 行為を禁止する記号
  - 一般禁止
  - 分解禁止
  - 水ぬれ禁止
  - ぬれ手禁止
  - 風呂等での使用禁止
  - 火気禁止
- 行為を指示する記号
  - 一般指示
  - 電源プラグをコンセントから抜け



**警告**



AC100V～AC240V の家庭用電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。



設置時に、ACアダプタ、コンセントプラグを壁やラック（棚）などの間に挟み込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。



電源コードを破損、加工、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災、感電の原因となります。



電源コードの上に、重い物をのせたり、布をかけたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。



電源コードを接続したまま、機器を移動しないでください。  
火災、感電の原因となります。



本製品の分解や改造を自分でしないでください。  
火災、感電、故障の恐れがあります。また本製品の分解、改造を行った場合、修理をお断りする事があります。



煙が出たり、変な臭いや音がしたら、本製品の電源ケーブルをコンセントから抜いてください。



そのまま使用を続けるとショートし、火災、感電の恐れがあります。  
液体などがかかった場合には、電源ケーブルをコンセントから抜いてください。



そのまま使用を続けるとショートし、火災、感電の恐れがあります。  
水分、湿気の多い場所では本製品を使用しないでください。  
火災、感電の恐れがあります。



本製品の稼働部分などに手を挟む危険があります。小さなお子様がけがをしないように柵で囲むなど配慮し、設置を行ってください。  
けがをする危険があります。



妊娠されている方、心疾患のある方、背中、腰の疾患のある方、首の疾患のある方は使用しないで下さい。



事故や体調不良を起こす恐れがあります。  
乗り物に酔いやすい方、めまいを起こしやすい方は使用しないでください。  
事故や体調不良を起こす恐れがあります。

 注意



本製品の電源ケーブルが接続されたときには、濡れた状態で触らないでください。感電の原因となります。



静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。

身体などからの静電気は、本製品の誤作動、故障の原因となります。



温度変化の激しい場所（クーラーや暖房器のそばなど）におかないでください。

本製品に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。



不安定な場所に置かないでください。

バランスがくずれて倒れたり、落下しけがの原因となります。



本製品の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。

抜くときは必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。



本製品の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的に（半年に1回程度）取り除いてください。

火災の原因となることがあります。



移動させる場合は、本製品の電源プラグをコンセントから抜き、接続線を外したことを確認し行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



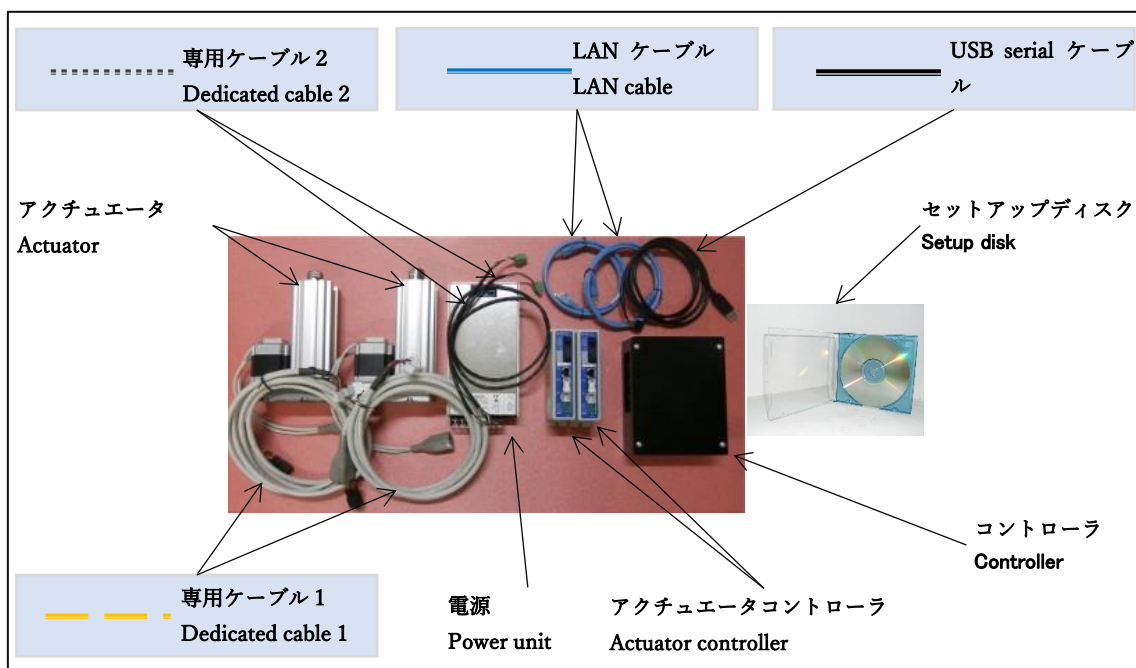
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。



本製品の使用中や使用直後に稼働部分、ACアダプタが高温になる場合があります。

やけどの恐れがありますので注意してください。

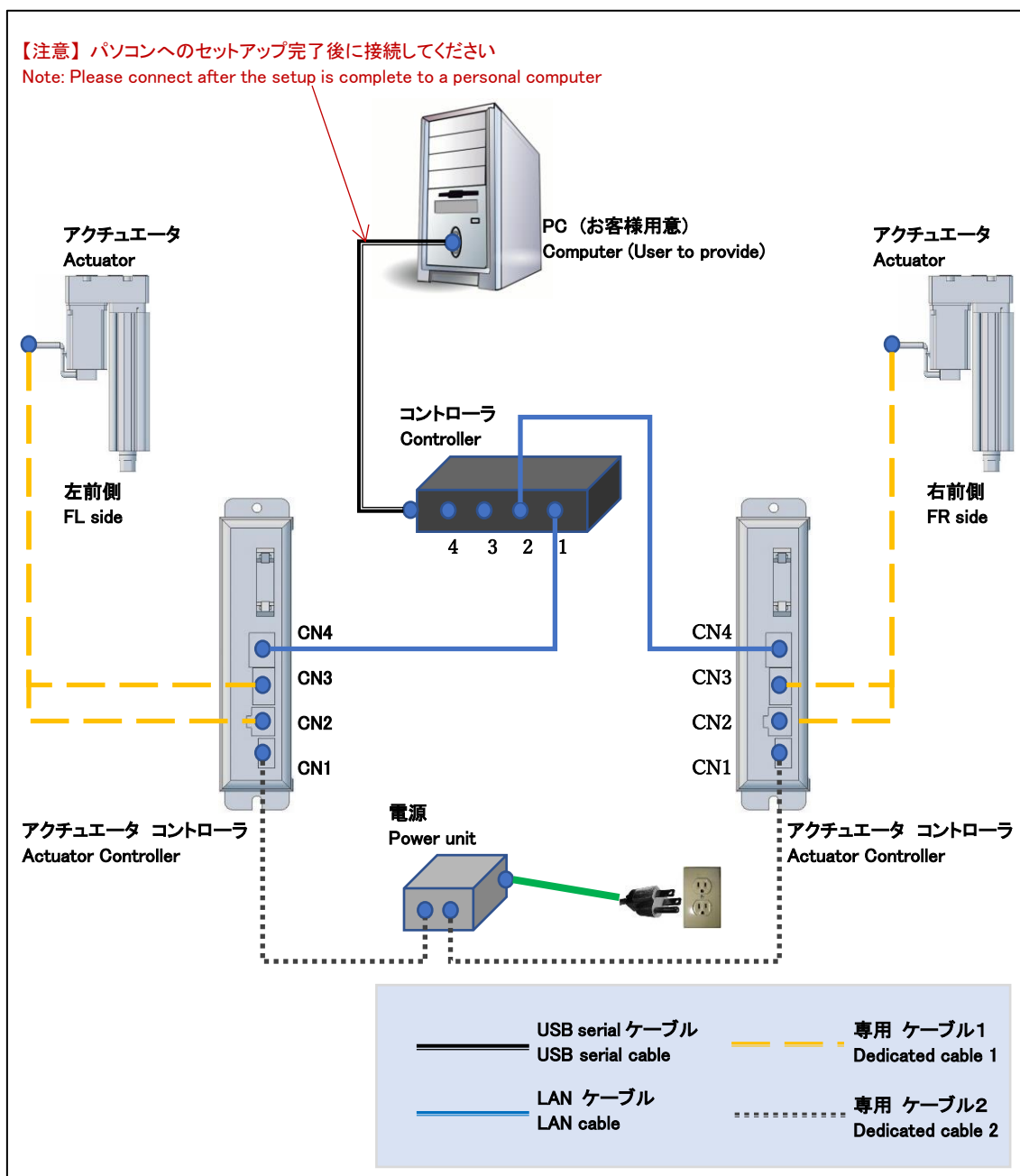
## 2. パッケージ内容



名称	個数
コントローラ Controller	1
アクチュエータ Actuator	2
アクチュエータコントローラ Actuator controller	2
電源 Power unit	1
USB serial ケーブル USB serial cable	1
LAN ケーブル LAN cable	2
専用ケーブル 1 Dedicated cable 1	2
専用ケーブル 2 Dedicated cable 2	2
セットアップディスク Setup disk	1

### 3. 接続方法

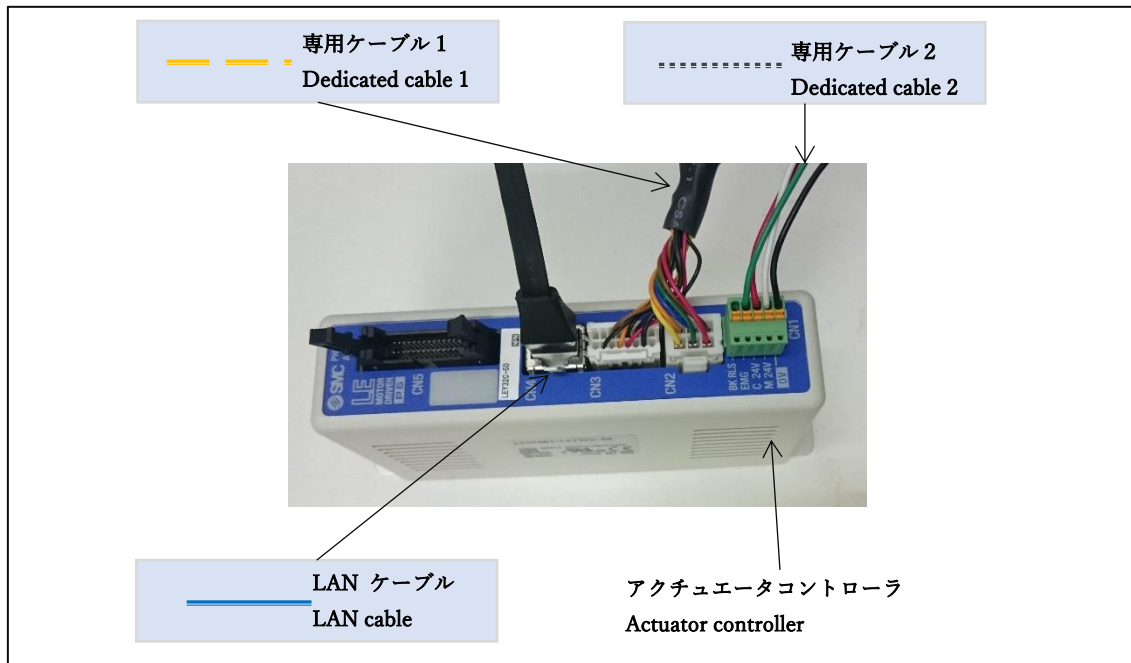
【注意】パソコンへのセットアップ完了後に接続してください  
 Note: Please connect after the setup is complete to a personal computer



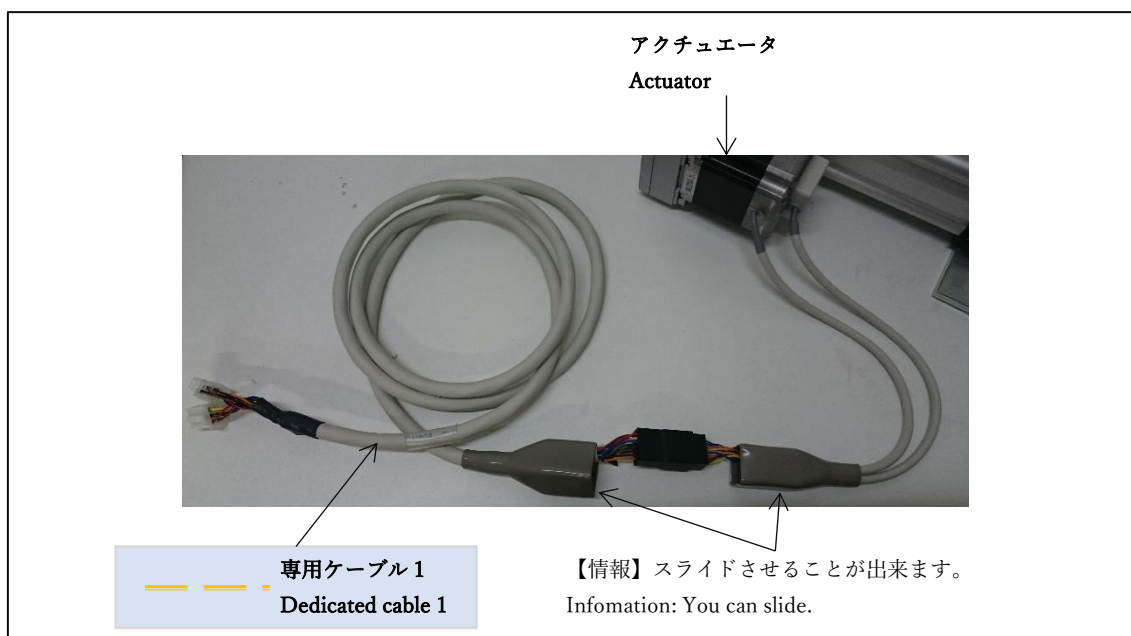


## 4. 接続部分

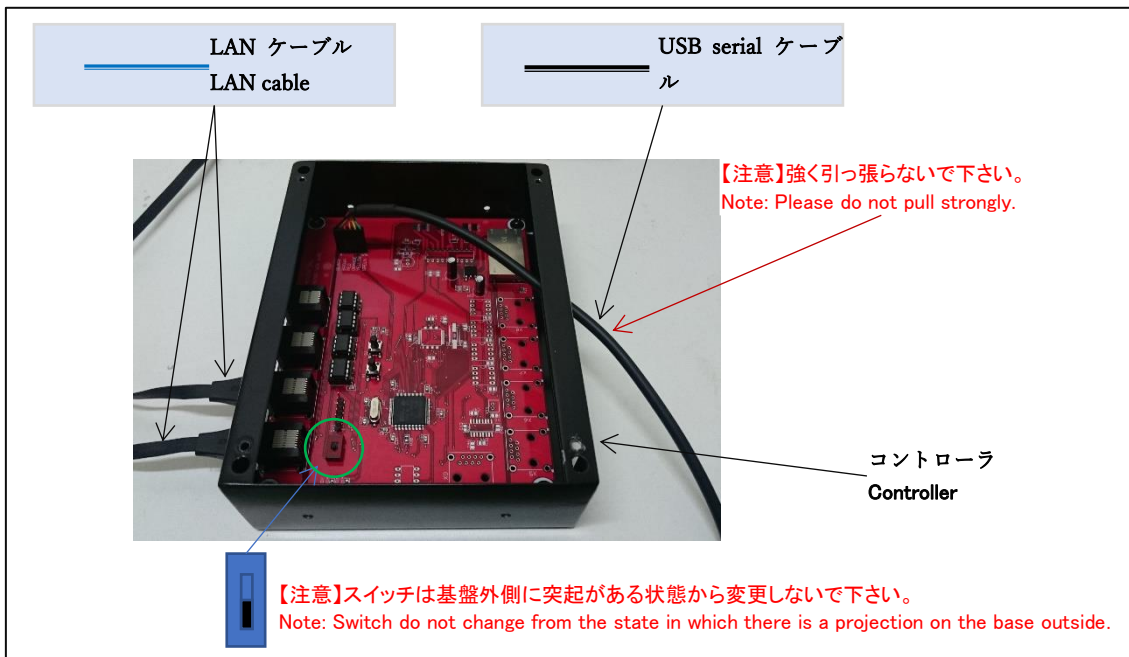
### 4.1. アクチュエータコントローラ



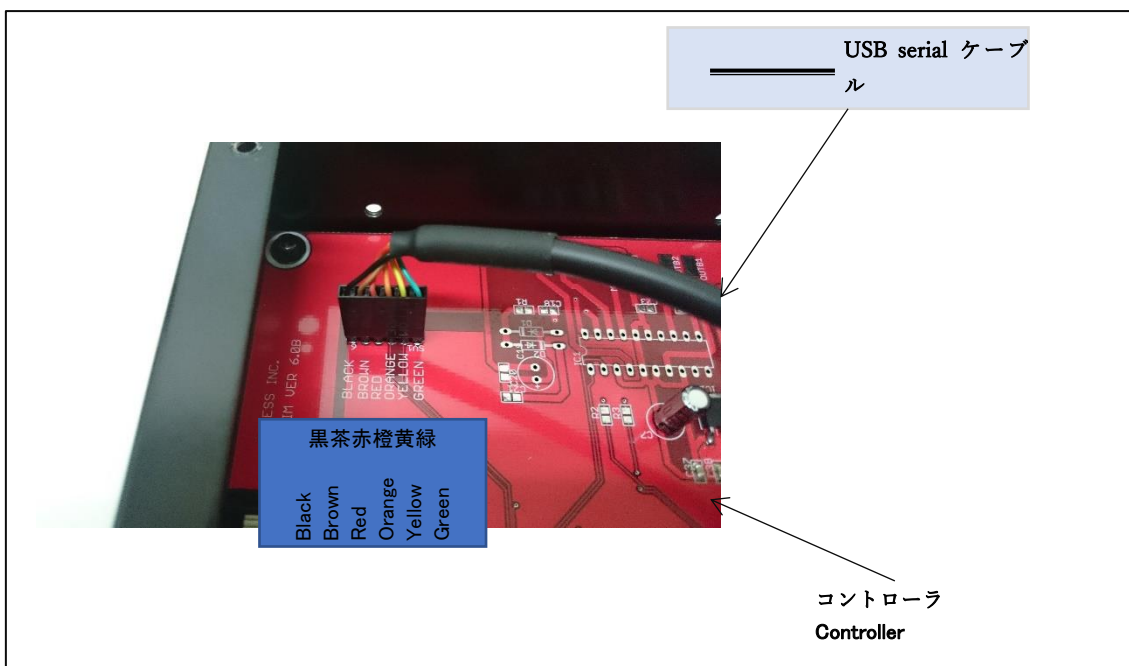
### 4.2. アクチュエータ



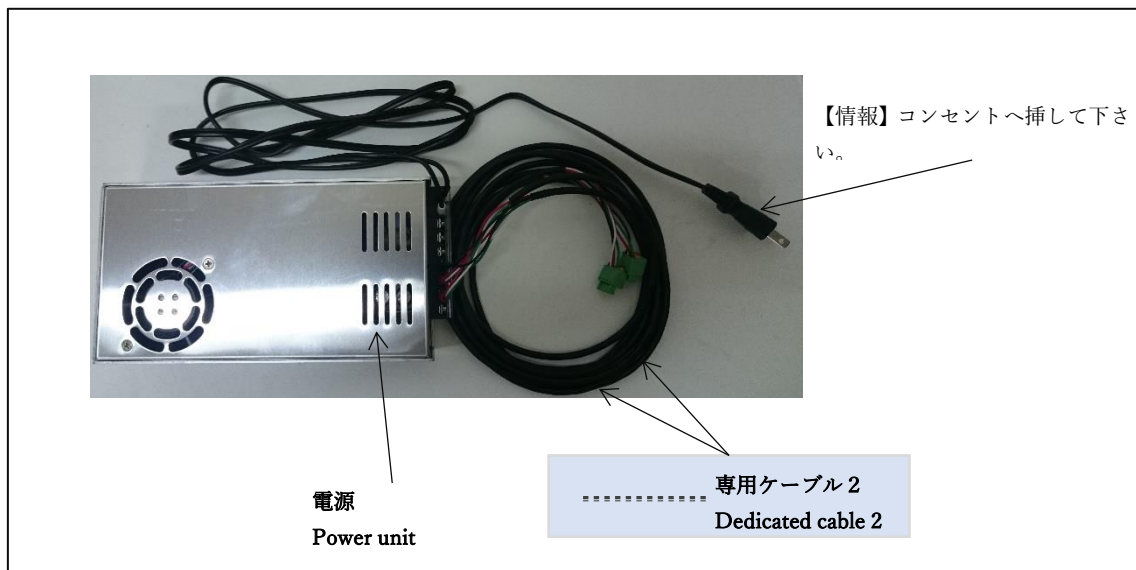
### 4.3. コントローラ



### 4.4. USB serial ケーブル接続部分



#### 4.5. 電源



## 5. セットアップ

セットアップ済み PC の場合には「6 セットアップ確認」を参照してください。

### 5.1. セットアップディスク内容

ファイル・ディレクトリ	内容
[driver]ディレクトリ	ドライバが格納されています。
[ACSIM-LITE]ディレクトリ	取扱い説明書等が格納されています。
acsim_XXXX.exe	アクチュエータ制御アプリ (ACSIM) のインストーラ ※XXXX:バージョンが入ります。
Acsim_XXXX_GT_SP.exe	アクチュエータ制御アプリ (ACSIM) のインストーラ グランツーリスモ対応バージョン ※XXXX:バージョンが入ります。

### 5.2. 準備

コントローラと PC が接続されていないことを確認しパソコンの電源を ON にしてください。起動を確認後、セットアップディスクを PC にセットしてください。

### 5.3. ドライバのインストール

FTDI の VCP ドライバのインストールを行います。

セットアップディスク内の

【[driver]-[FTDI]-[VCP]- CDM21216\_Setup.exe】を実行し画面の指示に従いインストールを行ってください。

### 5.4. アクチュエータ制御アプリ (ACSIM) のインストール

セットアップディスク内の

【acsim\_XXXX.exe】(※XXXX:バージョン番号)を実行し画面の指示に従いインストールを行ってください。

詳しくは「ACSIM(制御ソフト)「アプリケーション説明書」」の「ACSIM の PC へのセットアップ、アップデート」を参照してください。

## 6. セットアップ確認

### 6.1. コントローラの電源を入れる

コントローラから出ている電源ケーブルをコンセントに差し込む事でコントローラの電源が入ります。「4.5 電源」を参照してください。

### 6.2. コントローラを PC へ認識させる

コントローラを PC へ USB serial ケーブルで接続します。

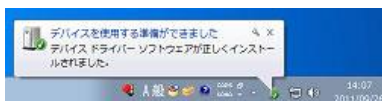
コントローラを PC へ接続すると PC のタスクトレイに下記のメッセージが表示されます。

※windows7 の場合:「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています」と表示される



しばらくすると PC のタスクトレイに下記のメッセージが表示されます。

※windows7 の場合:「デバイスを使用する準備ができました」と表示される



上記メッセージが表示されるとコントローラが PC に認識された状態となります。

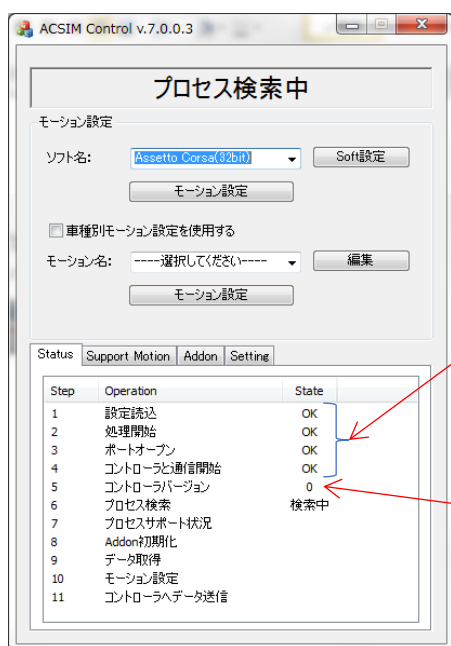
### 6.3. ACSIM のメイン画面の確認

タスクトレイ内の下記のアイコンをクリックしてください。



クリック

下記のように「コントローラバージョン」より上部がすべて【OK】と表示されていることを確認してください。



すべて OK となる

コントローラのバージョン

【NG】が表示される場合の対処方法

状態	対処
「設定読込」に NG と表示される。	アクチュエータ制御アプリに異常が発生しています。 「5.4 アクチュエータ制御アプリ (ACSIM) のインストール」をもう一度行ってください。
「処理開始」に NG と表示される。	アクチュエータ制御アプリに異常が発生しています。 「5.4 アクチュエータ制御アプリ (ACSIM) のインストール」をもう一度行ってください。
「ポートオープン」に NG と表示される。	PC に USB serial ケーブルが接続されているか確認してください。 PC に USB serial ケーブルが接続されている場合、別の USB ポートに接続し確認してください。 上記方法でも改善されない場合には VCP ドライバのインストールに失敗しています。 「5.3 ドライバのインストール」をもう一度行ってください。
「コントローラと通信開始」に NG と表示される。	USB serial ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。 「4.4 USB serial ケーブル接続部分」の確認を行ってください。

## 7. ACSIM 設定

### 7.1. アクチュエータ設定

「ACSIM-LITE モード」で動作するよう設定変更を行います。

① [Setting] をクリック

② [アクチュエータ設定] をクリ

③ [OK] をクリック

警告

十分に内容を理解した上で変更して下さい。

OK キャンセル

ACSIM Control Actuator setting

④ [v] をクリック

⑤ [ACSIM-LITE] を選択

⑥ [OK] をクリック

### 7.2. Plugin のインストール

rFactor などシミュレーションソフトのインストールを行った場合、シミュレータソフト毎に個別の設定が必要な場合があります。

詳しくは「ACSIM(制御ソフト)「アプリケーション説明書」」の「8.5 plugin のインストール」を参照ください。





# PlayStation

「ACSIM との接続方法」

## 目次

1. はじめに .....	19
2. PlayStation ユーザーズガイド .....	19
3. 構成図.....	19
3.1. PlayStation (グランツーリスモ) のみ接続の場合 .....	20
3.1.1. 接続.....	20
3.1.2. 操作.....	21
3.2. PlayStation (グランツーリスモ)、PC (rFactor 等) と同時接続の場合 .....	22
3.2.1. 接続.....	22
3.2.2. 操作.....	23
4. IP アドレス確認 .....	24
4.1. PlayStation3 の場合 .....	24
4.2. PlayStation4 の場合 .....	24
5. GT ドライバ設定 .....	25
5.1. ドライバ種類.....	25
5.1.1. デスクトップアイコン .....	25
5.2. ドライバ設定.....	25
6. ACSIM アプリケーションの表示確認 .....	26
7. セキュリティー .....	26

## 1. はじめに

ACSIM と PlayStation 用ソフト「グランツーリスモ」を連動動作させるにはグランツーリスモ対応の ACSIM 制御ソフトをインストールする必要があります。

インストーラ ACSIM\_XXXX\_GT\_SP.exe(XXXX:バージョン番号)を起動し、ライセンス規約に同意しインストールを行ってください。

## 2. PlayStation ユーザーズガイド

PlayStation3、PlayStation4 の接続方法、設定方法に関しては下記ホームページを参照してください。

PlayStation3 ユーザーズガイド:

<https://manuals.playstation.net/document/jp/ps3/current/>

PlayStation4 ユーザーズガイド:

<https://manuals.playstation.net/document/jp/ps4/index.html>

## 3. 構成図

PlayStation と ACSIM 制御用 PC を同一ネットワークになるように接続、設定を行ってください。ルーターなどネットワーク機器の設定が必要になる場合があります。

ネットワーク機器の設定につきましては、それぞれの機器メーカーへお問い合わせください。

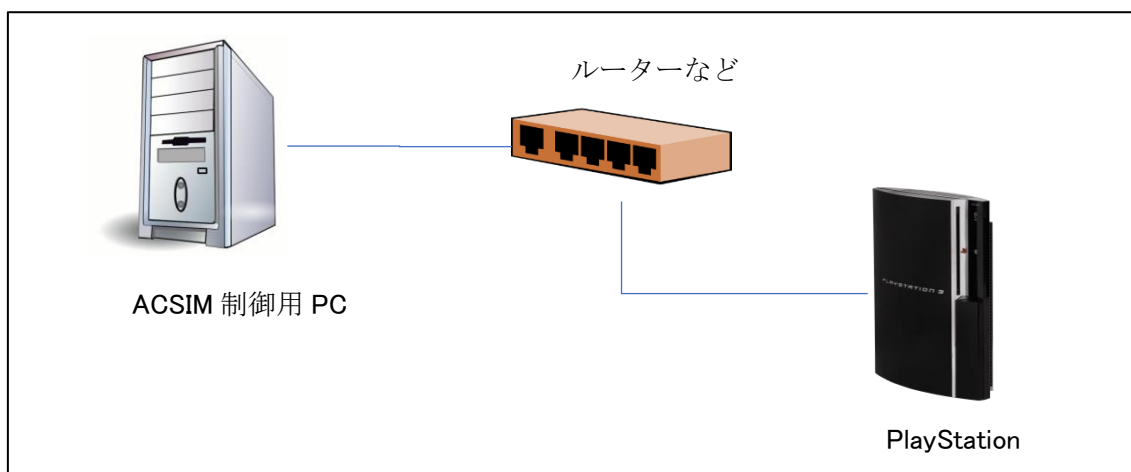


図 1 接続例 (ネットワーク)

3.1. PlayStation (グランツーリスモ) のみ接続の場合

3.1.1. 接続

PlayStation (グランツーリスモ) のみをプレイする場合の接続例となります。

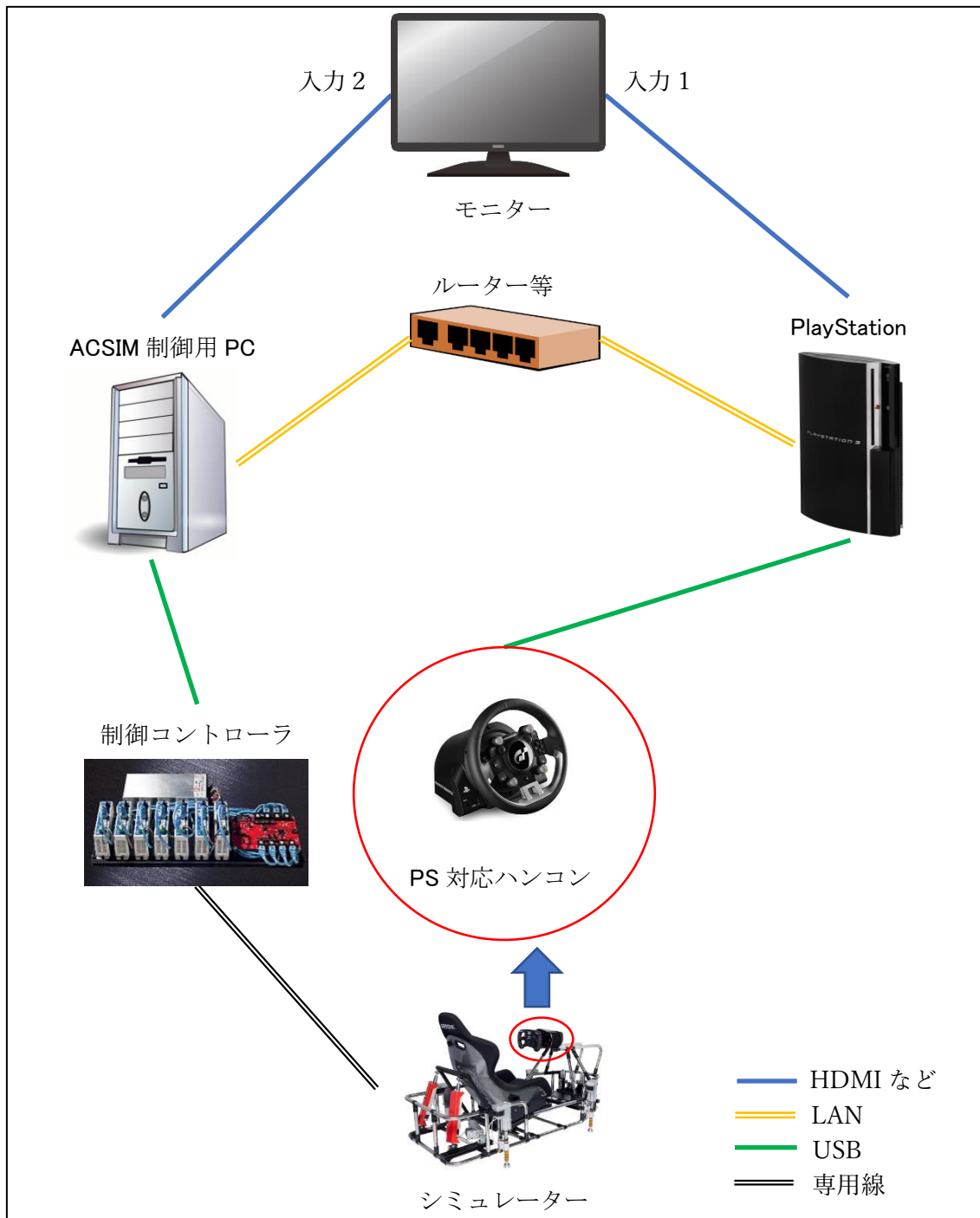


図 2 接続例 (全体)

### 3.1.2. 操作

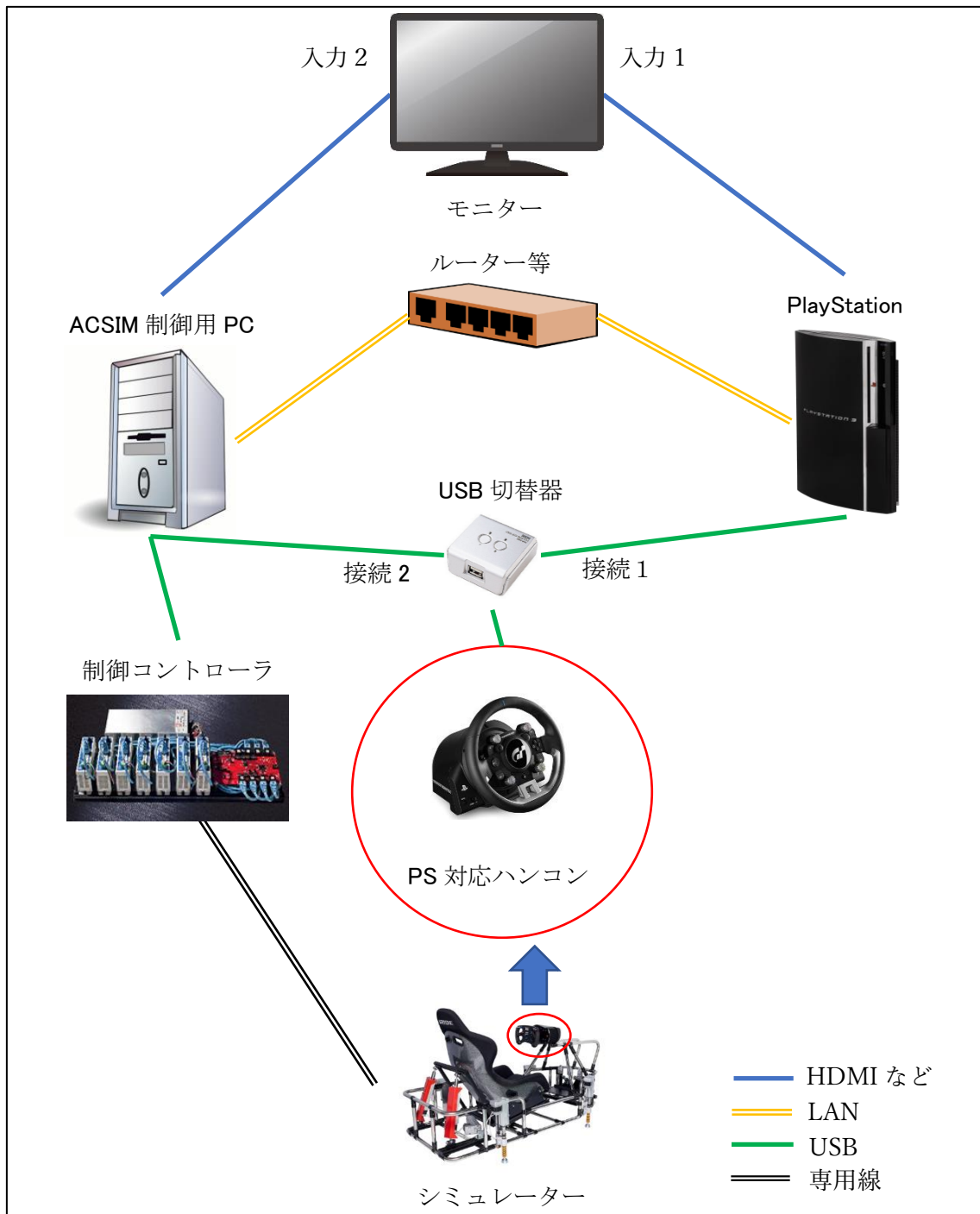
#### 3.1.2.1. PlayStation (グランツーリスモ) をプレイ

- (1) モニターを「入力1」(接続例の場合)にします。
- (2) PlayStationの「電源」をONにします。
- (3) ハンドルコントローラの「電源」をONにします。
- (4) グランツーリスモを起動し、走行画面で待機します。
  
- (5) モニターを「入力2」(接続例の場合)にします。
- (6) PCの「電源」をONにします。
- (7) GTドライバ起動、ステータス確認を行います。  
「4IPアドレス確認」「5GTドライバ設定」を参照してください。
- (8) ACSIM(制御アプリ)のステータス確認を行います。  
「6ACSIMアプリケーションの表示確認」を参照してください。
  
- (9) モニターを「入力1」(接続例の場合)にします。
- (10) グランツーリスモをプレイします。

### 3.2. PlayStation (グランツーリスモ)、PC (rFactor 等) と同時接続の場合

#### 3.2.1. 接続

PlayStation(グランツーリスモ)と PC用シミュレーションソフト(rFactor 等)の両方を切替にてプレイする場合の接続例となります。



## 3.2.2. 操作

### 3.2.2.1. PlayStation (グランツーリスモ) をプレイ

- (1) モニターを「入力1」(接続例の場合)にします。
- (2) USB切替器を「機器1」(接続例の場合)にします。
- (3) PlayStationの「電源」をONにします。
- (4) ハンドルコントローラの「電源」をONにします。
- (5) グランツーリスモを起動し、走行画面で待機します。
  
- (6) モニターを「入力2」(接続例の場合)にします。
- (7) PCの「電源」をONにします。
- (8) GTドライバ起動、ステータス確認を行います。  
「4IPアドレス確認」「5GTドライバ設定」を参照してください。
- (9) ACSIM(制御アプリ)のステータス確認を行います。  
「6ACSIMアプリケーションの表示確認」を参照してください。
  
- (10) モニターを「入力1」(接続例の場合)にします。
- (11) グランツーリスモをプレイします。

### 3.2.2.2. PC用シミュレーションソフト(rFactor等)をプレイ

- (1) モニターを「入力2」(接続例の場合)にします。
- (2) USB切替器を「機器2」(接続例の場合)にします。
- (3) PCの「電源」をONにします。
- (4) ハンドルコントローラの「電源」をONにします。
- (5) PC用シミュレーションソフト(rFactor等)をプレイします。

## 4. IP アドレス確認

PlayStation 側で危機に割り当てられている IP アドレスの確認を行います。

### 4.1. PlayStation3 の場合



※IP アドレスが表示されない場合には「3 構成図」を確認してください。

### 4.2. PlayStation4 の場合

(設定) > [ネットワーク] > [接続の状況を見る] で IP アドレスの確認を行ってください。



## 5. GT ドライバ設定

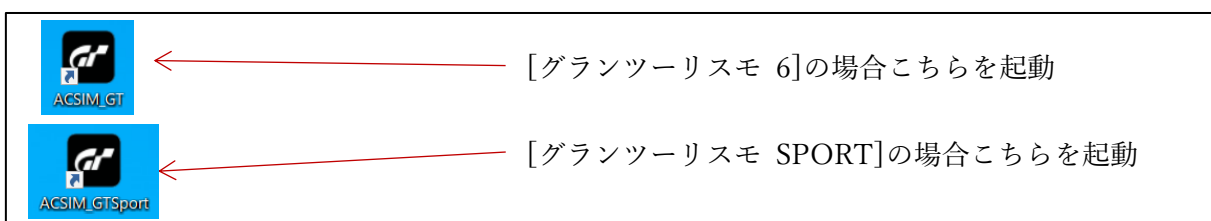
ACSIM 制御用 PC で「GT ドライバ」を起動し、設定を行います。

起動する「GT ドライバ」はプレイするグランツーリスモの種類に異なります。

### 5.1. ドライバ種類

PlayStation	グランツーリスモ	使用する GT ドライバ
PlayStation3	グランツーリスモ 6	ACSIM_GT
PlayStation4	グランツーリスモ SPORT	ACSIM_GTSport

#### 5.1.1. デスクトップアイコン



### 5.2. ドライバ設定

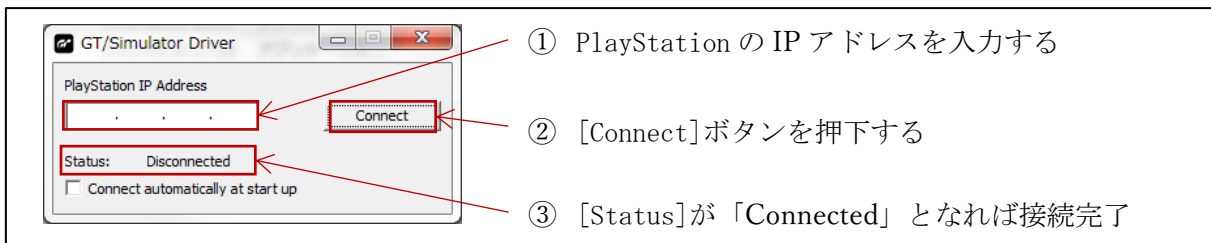


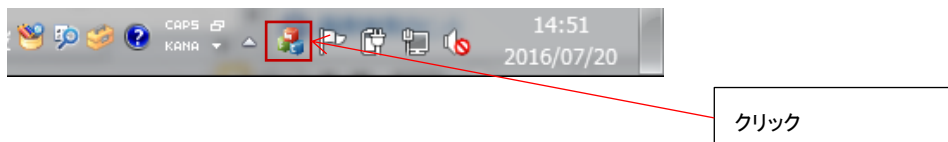
図 3 GT ドライバ設定画面

※Status が「Connected」とならない場合には「3 構成図」「4IP アドレス確認」「7 セキュリティー」を確認してください。

※グランツーリスモ SPORT の場合、オンラインモードにて最新バージョンへアップデートした状態でご使用ください。グランツーリスモ SPORT が初期バージョンの場合、シミュレータとの連動は出来ません。

## 6. ACSIM アプリケーションの表示確認

タスクトレイ内の下記のアイコンをクリックする事で ACSIM (制御ソフト) のダイアログの表示、非表示を行います。



ACSIM.exe が「GT ドライバ」との接続に成功している場合、下記の表示になります。

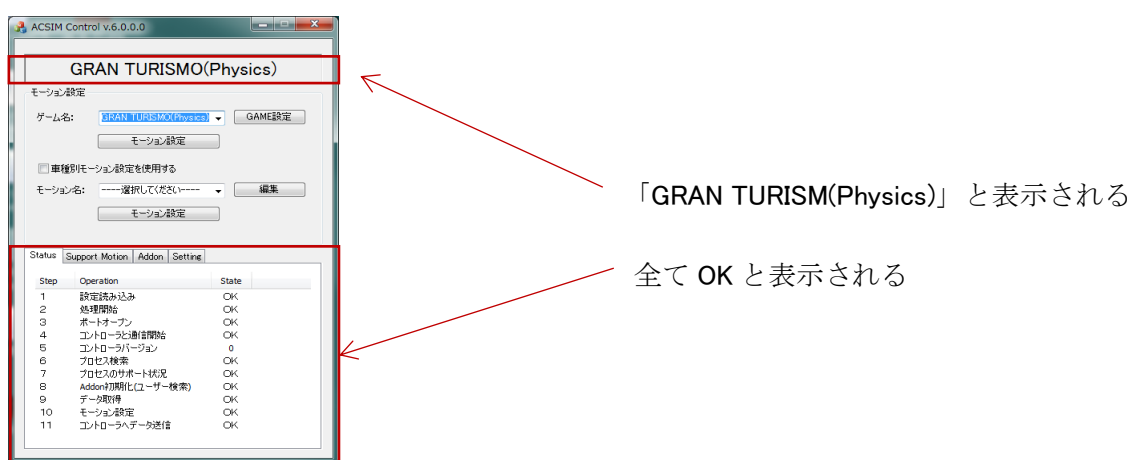


図 4 ACSIM.exe の表示状態

## 7. セキュリティー

「GT ドライバ」では下記のプロトコル、ポートを使用します。  
ファイアウォール等を使用している場合はブロックしないように設定してください。

プロトコル	ポート番号
UDP	33339
UDP	33340



# STEAM

「セットアップ」

## 目次

1. STEAM.....	29
2. Steam Client のインストール.....	30
2.1. STEAM ホームページ.....	30
3. STEAM アカウント作成.....	35
4. rFactor2 購入、インストール.....	38
4.1. 購入.....	38
4.2. インストール.....	40
5. システム要件.....	41
5.1. rFactor2.....	41
5.1.1. 必要環境.....	41
1.1.1. 推奨環境.....	41

## 1. STEAM

PC ゲーム販売プラットフォーム STEAM のインストール方法についての資料となります。  
STEAM を使用してレーシングシミュレーションソフト(rFactor や AssettoCorsa など)の  
購入、インストール、起動などの管理を行います。

※STEAM は常時アップデートしているため、記述内容と違う動作をする可能性があります。  
その場合は画面の指示に従い作業を進めてください。

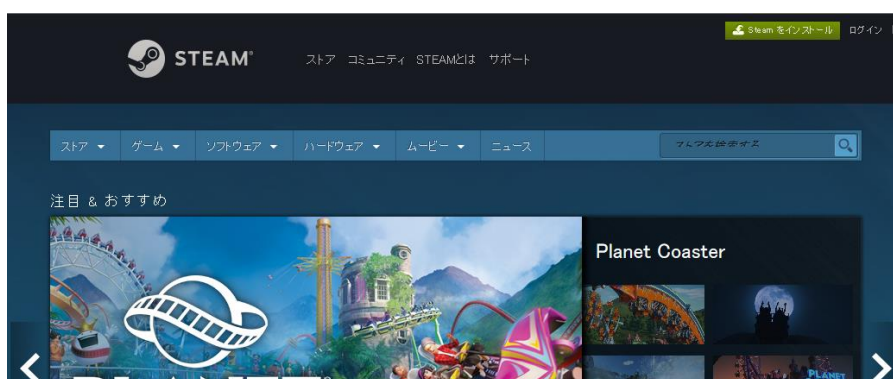
- 下記の作業を行います。
  - ① 「2 Steam Client のインストール」…P30
  - ② 「3 STEAM アカウント作成」…P35
  - ③ 「4 rFactor2 購入、インストール」…P38
  
- 下記が必要になります。
  - ① インターネット環境
  - ② メールアドレス(STEAM アカウント作成に使用します)

## 2. Steam Client のインストール

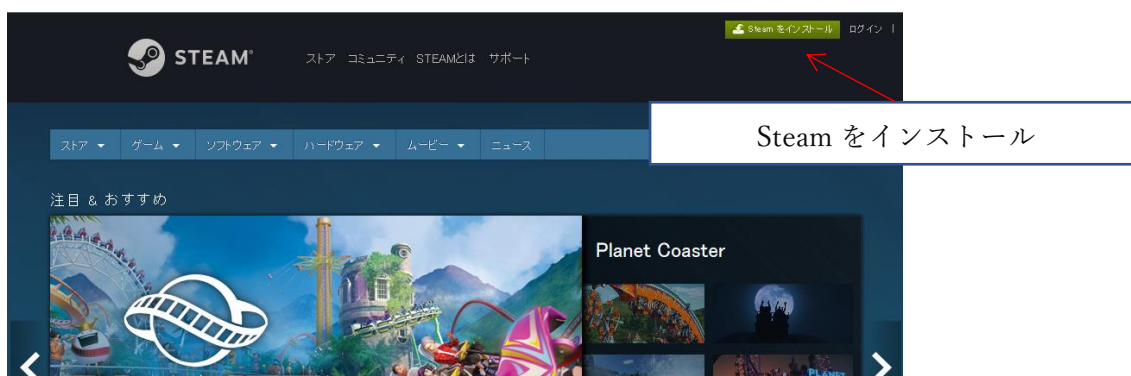
### 2.1. STEAM ホームページ

ウェブブラウザで STEAM ホームページ (<http://store.steampowered.com/>) へアクセスして下さい。

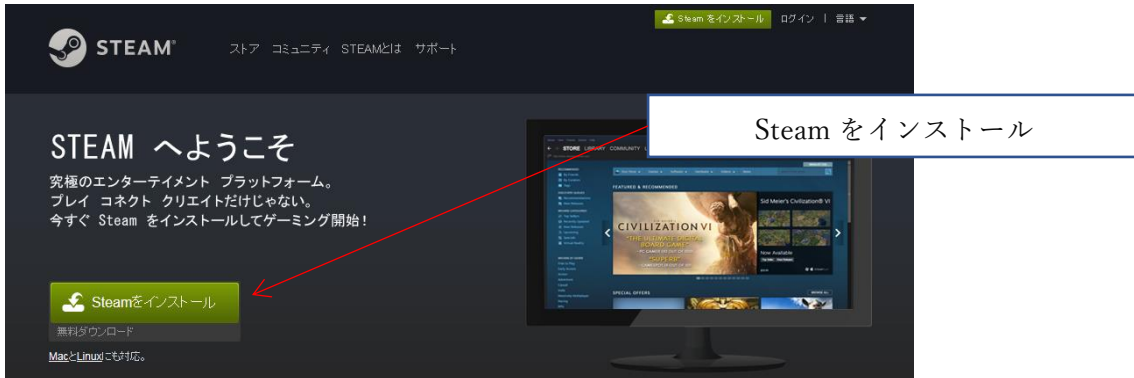
※Steam Client を既にインストール済みの場合は、「3 STEAM アカウント作成」…P35 を参照し作業を行って下さい。



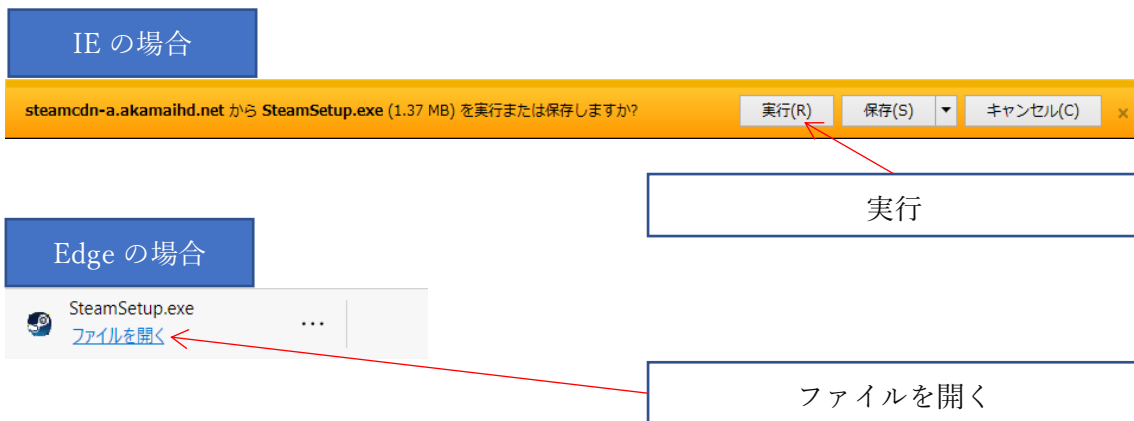
[Steam をインストール]をクリックして下さい。



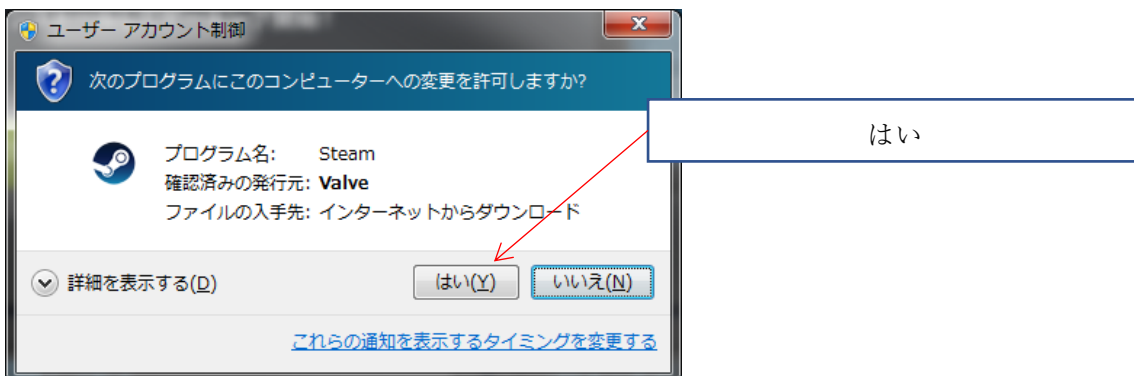
[Steam をインストール]をクリックして下さい。



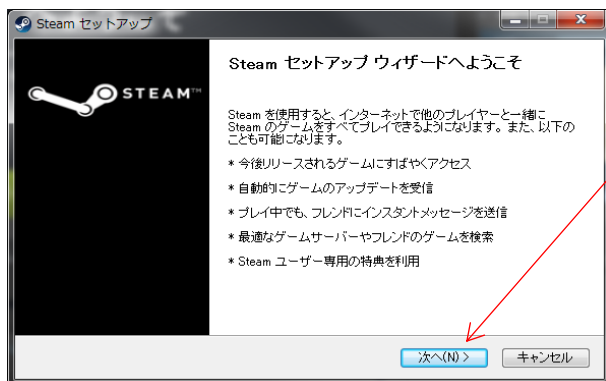
ブラウザの下部に確認ポップアップが表示されるので[実行]または[ファイルを開く]をクリックして下さい。



ユーザーアカウント制御ダイアログが表示されるので[はい]をクリックして下さい。



Steam セットアップダイアログが表示されるので、[次へ]をクリックして下さい。



次へ

ライセンス契約書を確認し[13 歳以上であり、使用許諾契約書に同意する]にチェックをし、[次へ]をクリックして下さい。



同意する

次へ

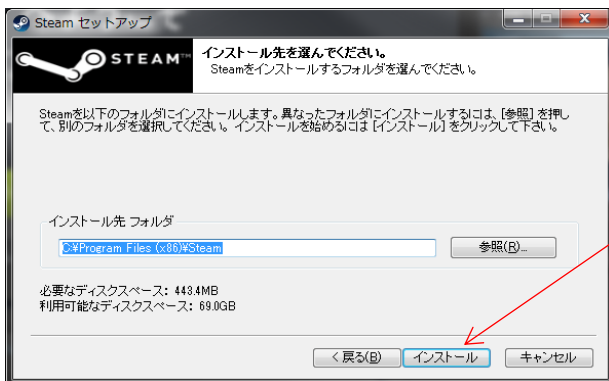
使用する言語を選択し、[次へ]をクリックして下さい。



次へ



インストール先を確認し、[インストール]をクリックして下さい。

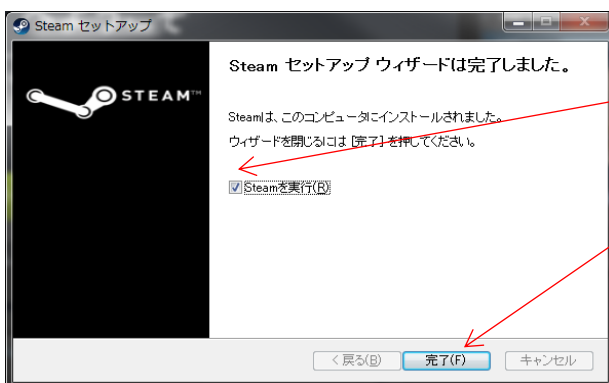


インストール

インストールの進捗状況が表示されます。作業完了までお待ち下さい。



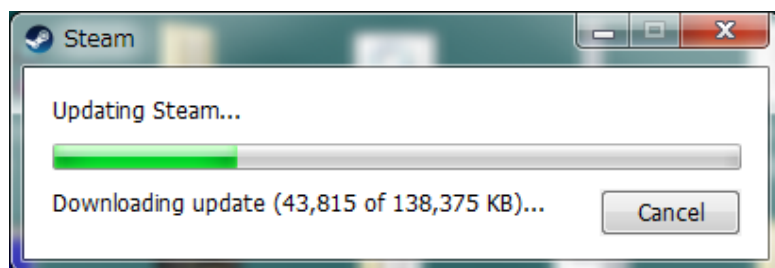
[Steam]を実行にチェックが付いている事を確認し、[完了]をクリックして下さい。



Steam を実行

完了

Steam Client のアップデートが始まります。しばらくお待ち下さい。



STEAM アカウント画面が表示されます。

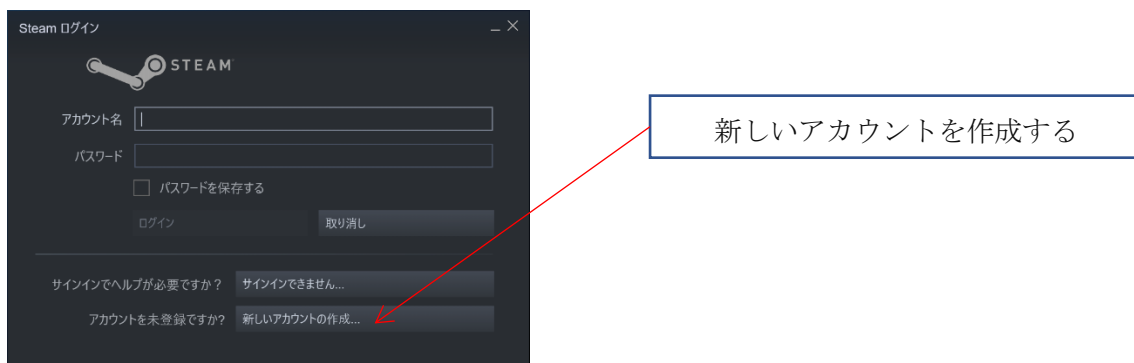
引き続き「3 STEAM アカウント作成」…P35 を参照し作業を行って下さい。



### 3. STEAM アカウント作成

[新しいアカウントを作成する]をクリックして下さい。

※アカウントを既にお持ちの場合は[既存のアカウントにログインする]をクリックし、「4 rFactor2」…P38 を参照し作業を行って下さい。

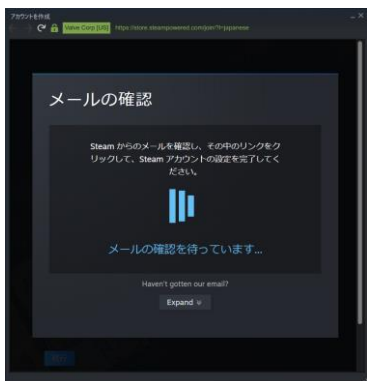


必要事項を入力し、[続行]ボタンをクリックしてください。



※[続行]ボタン押下で[noreply@steampowered.com]からメールが送られてきます。  
[noreply@steampowered.com]からのメールを受け取れるようにメールフィルター等の設定を行ってください。

メールの確認を行ってください。



メールを確認



メール



クリック

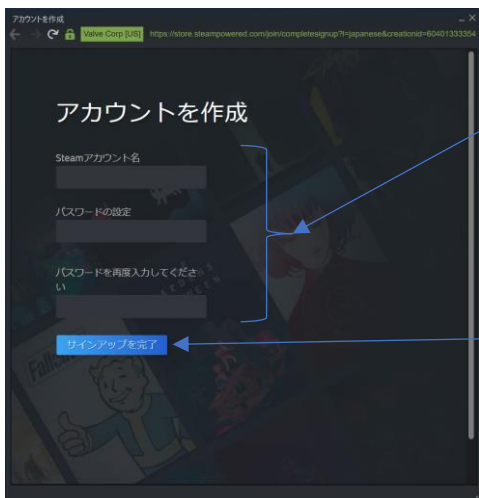


確認画面



ウィンドウを閉じる

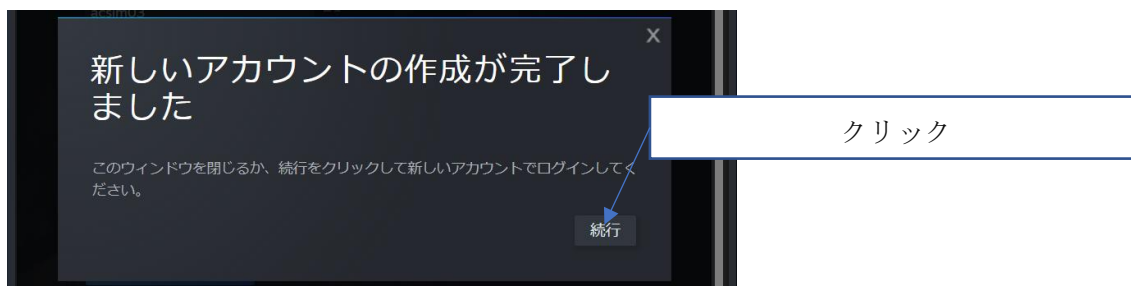
必要事項を入力し、[サインアップを完了]をクリックしてください。



入力

クリック

[続行]をクリックしてください。



以上で STEAM アカウントの作成は完了です。

作成した STEAM アカウントにて STEAM にログインしてください。

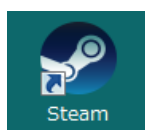


## 4. rFactor2 購入、インストール

ここでは例としてレーシングシミュレーションソフト rFactor2 の購入、インストール方法を説明します。別のレーシングシミュレーションソフトも rFactor2 と同様の方法で購入、インストールすることが出来ます。

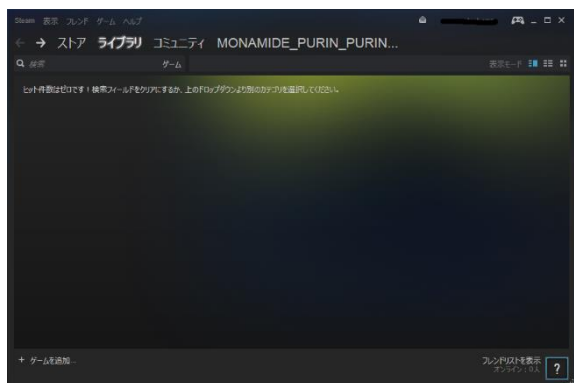
### 4.1. 購入

デスクトップの Steam アイコンをダブルクリックします。



①Steam アイコン

メイン画面が表示されます。

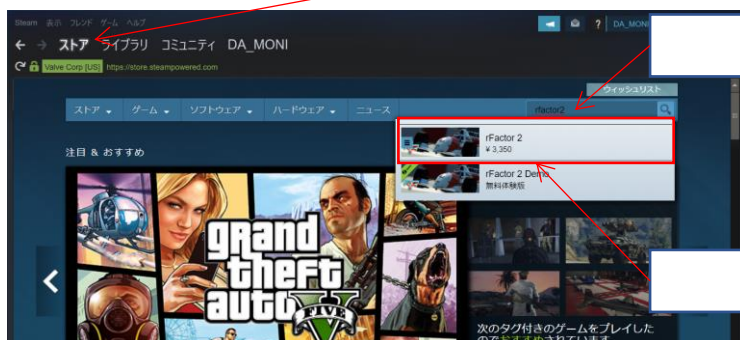


メイン画面上部にある、

[ストア]を選択し、検索エリアに「rFactor2」と入力してください。

表示されたリストから「rFactor2」を選択してください。

②ストア



③「rFactor2」と入力

④「rFactor2」を選択

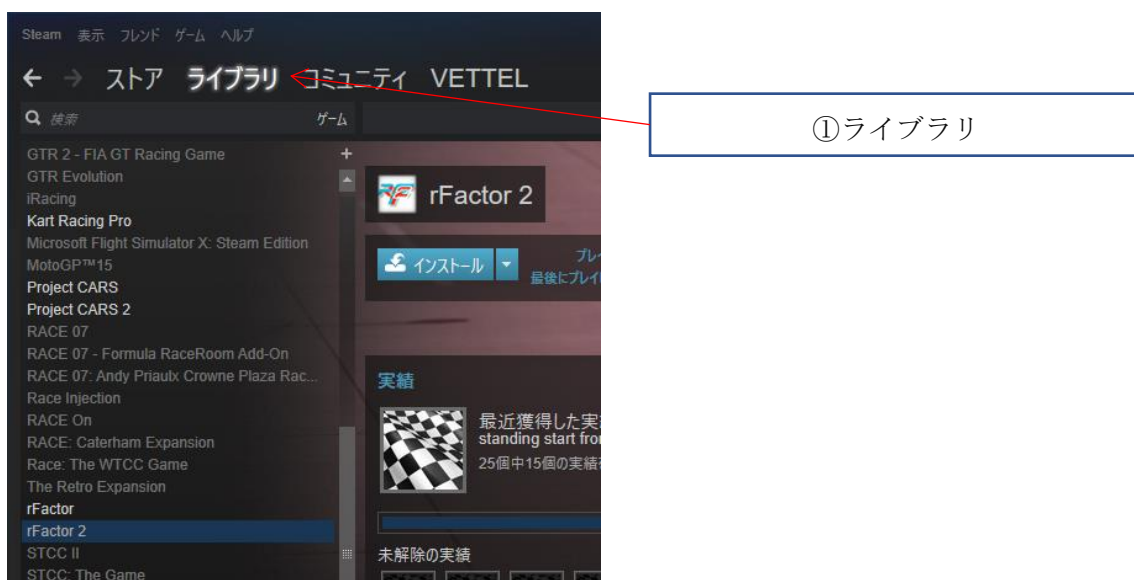
[カートに入れる]を選択し、購入処理を行ってください。



⑤ [カートに入れる]を選択し、購入処理を行ってください。

## 4.2. インストール

Steam メイン画面で[ライブラリを選択]



[rFactor2]を選択し、[インストール]ボタンを押下してください。



画面の指示に従いインストール作業を行って下さい。



## 5. システム要件

### 5.1. rFactor2

#### 5.1.1. 必要環境

OS	Windows 7, 8, 8.1 or 10, with latest Service Packs
プロセッサ	2.8 GHz Intel Core 2 Duo or 3.0 GHz AMD Athlon II x2
メモリー	4 GB RAM
グラフィック	NVIDIA GTS 450 or AMD Radeon 5750
DirectX	Version 9.0c
ネットワーク	ブロードバンドインターネット接続
ストレージ	30 GB の空容量
サウンドカード	DirectX Compatible

#### 1.1.1. 推奨環境

OS	Windows 7, 8, 8.1 or 10, with latest Service Packs
プロセッサ	3.0 GHz Intel i5 or 4.0 GHz AMD FX
メモリー	8 GB RAM
グラフィック	NVIDIA GTX 760 or AMD 7870
DirectX	Version 11
ネットワーク	ブロードバンドインターネット接続
ストレージ	60 GB の空容量
サウンドカード	DirectX Compatible



# ACSIM（制御ソフト）

アプリケーション説明書

更新履歴

更新日	ACSIM バージョン	内容
2013/7/29	1.0.0	新規作成
2013/12/11	1.2.0	通信設定に「---自動選択---」追加
2014/3/26	1.3.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応ソフト、ソフト連動設定の更新</li> <li>→ 【Kart Racing Pro】対応</li> <li>・モーション設定に項目追加</li> <li>→ 「前後動作の倍率」</li> <li>→ 「左右動作の倍率」</li> <li>→ 「スライド開始角度」</li> <li>・ゲーム設定に項目追加</li> <li>→ 「サンプリング間隔」</li> </ul>
2014/4/1	1.3.2	plugin インストール追加 インストーラーの説明追加
2014/10/31	1.4.0.0	インストーラーの変更
2015/1/26	2.0.0.2	ACSIM2.0.0.2 に対応するよう説明更新
2015/2/10	2.0.0.5	ACSIM2.0.0.5 に対応するよう説明更新
2015/6/18	2.1.4.0	ACSIM2.1.4.0 に対応するよう説明更新
2015/9/24	2.1.7.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「指定モーション」の廃止</li> <li>・「車種別モーション」の追加</li> </ul>
2015/10/7	2.1.8.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応ソフト、ソフト連動設定の更新</li> <li>→ 【F1 2013】対応</li> <li>→ 【F1 2014】対応</li> <li>→ 【F1 2015】対応</li> <li>→ 【DiRT Rally】対応</li> <li>・リモートモーション設定対応</li> </ul>
2015/11/25	6.0.0.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制御基板コマンドバージョン6対応</li> <li>・対応ソフト、ソフト連動設定の更新</li> <li>→ 【グランツーリスモ6】対応</li> </ul>

2016/2/24	6.2.2.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応ソフト、ソフト連動設定の更新</li> <li>→ <b>【Assetto Corsa (Win10)】</b> 対応</li> <li>・アクチュエータ設定ダイアログ変更</li> <li>・モーション設定の項目</li> <li>→ 「シート設定」</li> <li>→ 「移動平均の回数」を 「移動平均の回数（左右G）」に変更</li> <li>・plugin のインストール説明追加</li> <li>・セットアップ、アップデート方法追記</li> </ul>
2016/3/3	6.2.2.15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトの多言語化対応</li> <li>→インストール時に言語選択可能</li> <li>→「日本語」「English」</li> </ul>
2016/4/1	6.2.2.18	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応ソフト、ソフト連動設定の更新</li> <li>→ <b>【Steam 版 rFactor】</b> 対応</li> <li>→ <b>【Steam 版 rFactor2】</b> 対応</li> <li>→ <b>【Steam 版 rFactor Demo】</b> 対応</li> <li>→ <b>【Steam 版 rFactor2 Demo】</b> 対応</li> <li>・plugin のインストール更新</li> <li>・[Status]タブで「NG」が発生した場合の対処方法の追加</li> <li>・「セキュリティ」項目の追加</li> </ul>
2016/4/6	6.2.2.19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インストーラーの更新</li> <li>→「クリーンインストール」オプション追加</li> <li>→「Plugin のインストール」オプション追加</li> </ul>
2016/4/12	6.2.2.20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクチュエータ設定に「トレッド」、「ホイールベース」追加</li> </ul>
2016/4/15	6.2.2.22	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレイ中のソフトを中断機能追加</li> <li>→Soft 設定に [パスワード] [走行時間]項目追加</li> </ul>
2016/6/8	6.2.2.29	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応ソフト、ソフト連動設定の更新</li> <li>→ <b>【RaceRoom Racing Experience】</b> 対応</li> </ul>
2016/6/24	7.0.0.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信方法追加</li> <li>→TCP/IP を追加</li> </ul>
2016/9/27	7.0.0.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応ソフト、ソフト連動設定の更新</li> <li>→ <b>【F1 2016】</b> 対応</li> <li>→ <b>【AUTOMOBILISTA】</b> 対応</li> </ul>

2017/1/13	7.0.2.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応ソフト、ソフト連動設定の更新</li> <li>→【Euro Truck Simulator2(Steam)】対応</li> <li>→【Microsoft FSX(Steam)】対応</li> <li>→【Assetto Corsa】プラグイン不要に変更</li> <li>→【iRacing SDK(1.10)】</li> <li>→アップデート対応</li> <li>→x86,x64,DX11 モード対応</li> </ul>
2017/1/18	7.1.0.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応ソフト、ソフト連動設定の更新</li> <li>→【Live for Speed】対応</li> <li>→【Kart racing pro (beta 15b)】対応</li> </ul>
2017/7/10	7.2.1.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応ソフト、ソフト連動設定の更新</li> <li>→【DiRT4】対応</li> </ul>
2017/7/28	7.2.1.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応ソフト、ソフト連動設定の更新</li> <li>→【Kart Racing Pro (release2)】対応</li> </ul>
2017/9/27	7.2.1.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応ソフト、ソフト連動設定の更新</li> <li>→【F1 2017】対応</li> </ul>
2017/10/2	7.2.1.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフト連動設定の更新</li> <li>→設定ファイルで指定する UDP ポート番号の変更 「20777 -&gt; 30777」</li> <li>→影響するソフト</li> <li>→F1 2010 ~ F1 2017</li> <li>→DiRT2 ~ DiRT4、DiRT Rally</li> <li>→GRID、GRID2</li> </ul>
2017/10/3	7.2.1.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応ソフト、ソフト連動設定の更新</li> <li>→【project CARS2】対応</li> </ul>
2017/11/14	7.2.2.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応ソフト、ソフト連動設定の更新</li> <li>→【グランツーリスモ SPORT】対応</li> <li>→※GT ドライバは GT6 とは別プログラム</li> <li>・Soft 設定、UDP 通信時の「バッファサイズ」項目追加</li> <li>→影響するソフト</li> <li>→F1 2010 ~ F1 2017</li> <li>→DiRT2 ~ DiRT4、DiRT Rally</li> <li>→GRID、GRID2</li> </ul>
2018/6/6	7.4.4.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信方法追加</li> <li>→Motionnet を追加</li> </ul>

2019/1/23	7.6.1.2	・対応ソフト、ソフト連動設定の更新 →【F1 2018】対応
2019/1/30	7.6.1.3	・対応ソフト、ソフト連動設定の更新 →【Assetto Corsa Competizione】対応
2019/8/30	7.6.1.4	・8軸対応 (rFactor2 only) ・モーション設定画面の更新 ・対応ソフト一覧に BASE の動作モード追加
2020/1/10	8.0.0.0	・8軸正式対応バージョン(全ソフト8軸対応) ・「アクチュエータ設定」-「動作モード」の名称変更、 動作モード追加 →「6軸仕様」「7軸仕様」「8軸仕様」「ACSIM- LITE」「ACSIM-MINI」
2020/1/24	8.0.1.0	・対応ソフト、ソフト連動設定の更新 →【F1 2019】対応 →【DiRT Rally2.0】対応
2020/1/29	8.0.2.0	・対応ソフト、ソフト連動設定の更新 →【Kart racing pro (release10b)】対応 →【Euro Truck Simulator 2】リアスライド対応
2020/1/31	8.0.3.0	・対応ソフト、ソフト連動設定の更新 →【KartKraft】対応
2020/2/4	8.0.4.0	・対応ソフト、ソフト連動設定の更新 →【アセットコルサ アルティメットエディション 日本語版(DMM)】
2020/3/5	8.0.4.1	「Public API(Axis)」のバグ修正 →「GRAN TURISMO(Axis)」と識別される不具合修正
2020/3/16	8.0.4.1	・誤記訂正 →Dirt 4 hardware_setting_config.xml の誤記訂正
2020/4/7	8.0.5.0	・対応ソフト、ソフト連動設定の更新 →【AUTOMOBILISTA 2】対応
2020/6/5	8.0.6.0	・rFactor2 プラグインの不具合修正 →上下動作倍率を 0(ゼロ)以外にした場合に筐体 FL 軸 の動作がおかしくなる現象の修正
2020/6/10	8.0.6.1	「車種別モーション設定」が使用できない不具合の修正
2020/9/2	8.0.7.0	・対応ソフト、ソフト連動設定の更新 →【F1 2020】対応

2020/9/4	8.0.8.0	・対応ソフト、ソフト連動設定の更新 →【Project CARS3】対応
2020/10/23	8.0.9.1	・サーボ(Motionnet)の原点復帰処理の最適化 →200mm ストローク対応
2020/10/28	8.0.9.2	・Motionnet API 不具合修正
2020/12/17	8.0.9.3	・モーション設定画面の表示不具合修正
2020/12/25	8.0.9.4	・対応ソフト、ソフト連動設定の更新 →【RaceRoom Racing Experience】API.ver.2.9 対応
2021/2/18	8.0.9.5	・Motionnet 原点復帰処理のタイムアウト時間調整
2021/3/4	8.0.10.0	・対応ソフト、ソフト連動設定の更新 →【GRID(2019)】対応
2021/4/23	8.0.11.0	・対応ソフト、ソフト連動設定の更新 →【Forza Horizon 4】対応
2021/5/10	8.0.12.0	・対応ソフト、ソフト連動設定の更新 →【American Truck Simulator】対応 →【BeamNG.drive】対応
2021/5/19	8.0.13.0	・対応ソフト、ソフト連動設定の更新 →【Forza Horizon 4(Microsoft Store Windows PC 版)】対応 →【Forza Motorsport 7(Microsoft Store Windows PC 版)】対応 →【Project CARS - Pagani Edition】対応
2021/7/20	8.0.14.0	・対応ソフト、ソフト連動設定の更新 →【F1 2021】対応

## 目次

1. ACSIM の PC へのセットアップ、アップデート	50
1.1. インストール	50
1.2. plugin のインストール	50
2. インストール	51
2.1. インストール開始	51
2.2. ユーザーアカウント制御	51
2.3. 言語選択	52
2.4. セットアップウィザードの開始	52
2.5. インストール先の指定	53
2.6. 既存のフォルダ	53
2.7. プログラムのグループの指定	54
2.8. 追加タスクの選択	54
2.9. インストール準備完了	55
2.10. インストール状況	55
2.11. インストール完了	56
3. メインダイアログ	57
4. 現在の処理状況	58
5. Soft 設定	59
6. デフォルトモーション設定	61
6.1. モーション設定	61
7. 車種別モーションを使用する	62
7.1. モーション設定	62
7.2. 編集	63
8. 設定 [Setting タブ]	64
8.1. 通信設定	65
8.2. 再接続	65
8.3. 通信設定詳細	65
8.3.1. シリアル通信	65
8.3.2. TCP/IP 通信設定	65
8.3.3. EtherCAT 通信設定	66
8.3.4. Motionnet 通信設定	66
8.4. アクチュエータ設定	67
8.4.1. 6 軸仕様	67
8.4.2. 7 軸仕様	69
8.4.3. 8 軸仕様	71



8.4.4.	ACSIM-LITE .....	73
8.4.5.	ACSIM-MINI.....	75
8.5.	plugin のインストール.....	77
8.5.1.	自動で plugin のインストールを行う .....	78
8.5.2.	手動で plugin のインストールを行う .....	79
9.	処理ステータスの表示 [Status タブ]	80
10.	モーションのサポート状況 [Support Motion タブ]	83
11.	Addon 情報 [Addon タブ]	84
12.	モーション設定	85
12.1.	車体設定 .....	85
12.2.	シート設定 .....	87
12.3.	車種情報 .....	91
13.	付録	92
13.1.	対応ソフト .....	92
13.2.	ソフト連動設定 .....	96
13.3.	PowerShell.....	122
13.3.1.	起動方法.....	122
13.4.	セキュリティ .....	123

## 1. ACSIM の PC へのセットアップ、アップデート

シミュレータを制御するプログラム ACSIM のインストールを行います。

### 1.1. インストール

「**2 インストール**」…P51 を参照し ACSIM のインストールを行って下さい。

既に ACSIM がインストールされている場合は上書きインストールが行われます。

### 1.2. plugin のインストール

「**8.5 plugin のインストール**」…P77 を参照し plugin のインストール（上書き）を行って下さい。

ACSIM のインストールを行った場合、plugin のインストールを必ず行って下さい。バージョンの違う plugin では正しく動作しない可能性があります。

## 2. インストール

### 2.1. インストール開始

accsimXXXX.exe を実行します。(XXXX にはバージョン番号が入ります。)

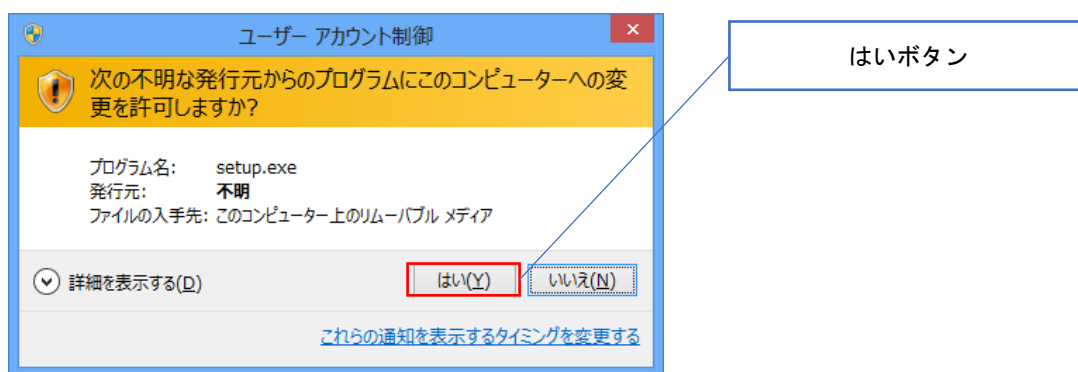
### 2.2. ユーザーアカウント制御

ユーザーアカウント制御が有効になっている Windows を使用している場合には下記のダイアログが表示されることがあります。

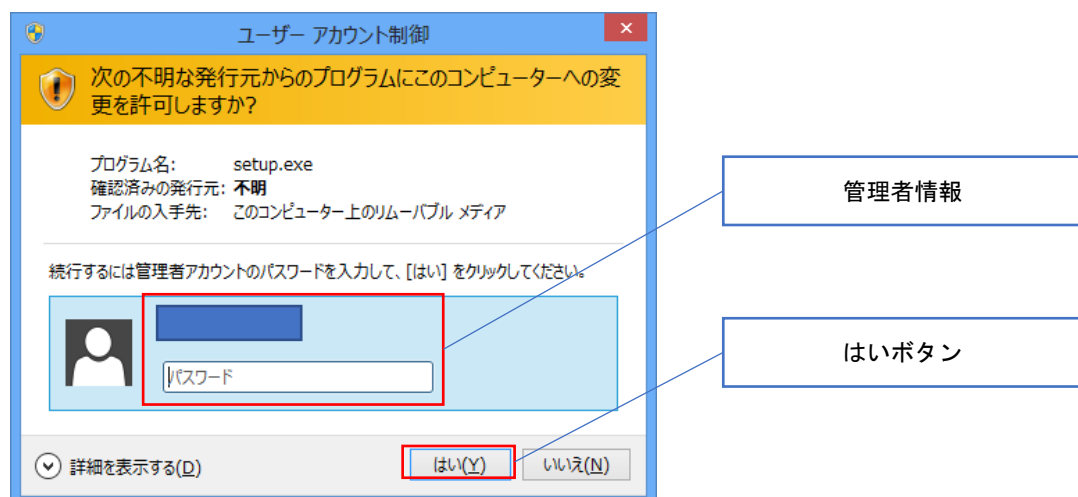
管理者でログインしている場合には「はいボタン」を押下して下さい。

制限ユーザーでログインしている場合には管理者のアカウント情報を入力し「はいボタン」を押下して下さい。

#### 管理者でログインしている場合

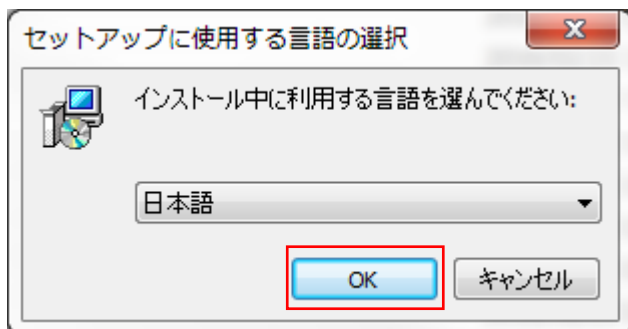


#### 管理者以外でログインしている場合



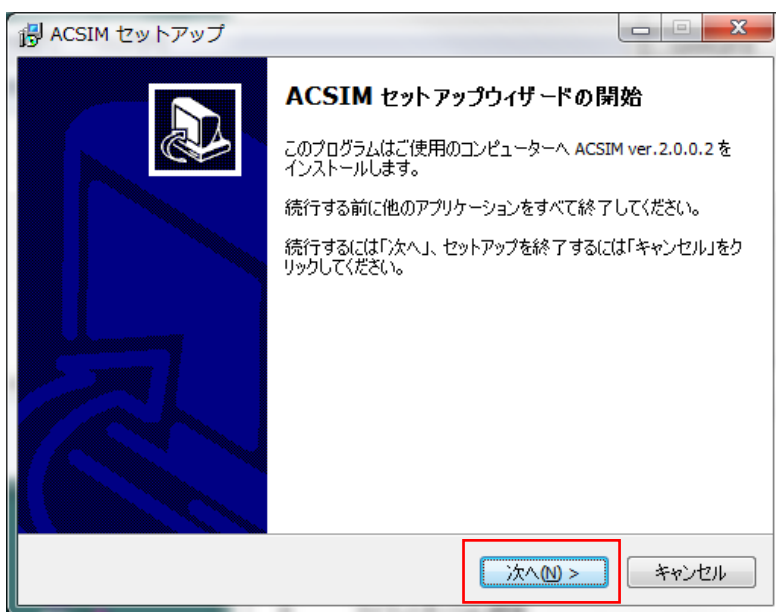
### 2.3. 言語選択

「日本語」を選択し「OKボタン」を押下して下さい。



### 2.4. セットアップウィザードの開始

「次へボタン」を押下して下さい。

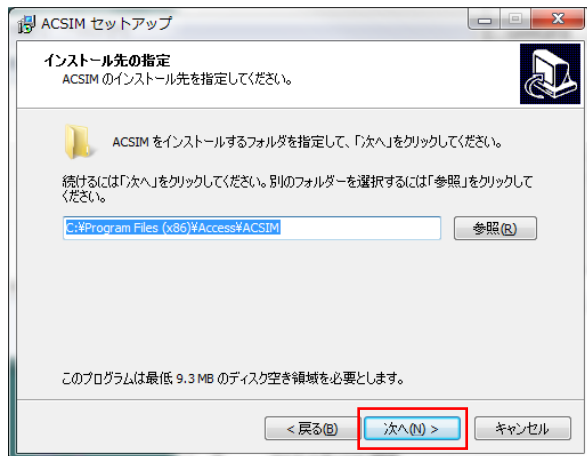


## 2.5. インストール先の指定

新規インストールの場合に表示されます。

「次へボタン」を押下して下さい。

※上書きインストールの場合は「2.8 追加タスクの選択」…P54 へ進んで下さい。

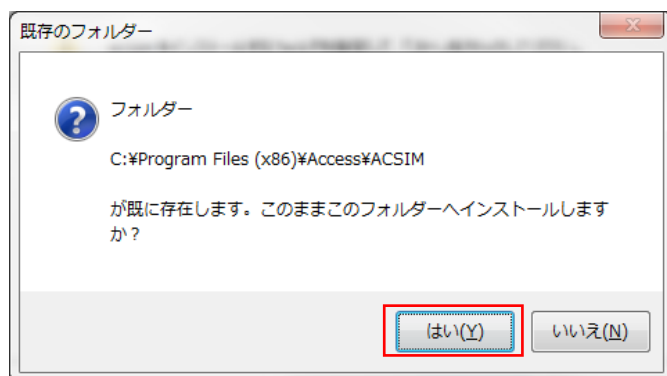


## 2.6. 既存のフォルダ

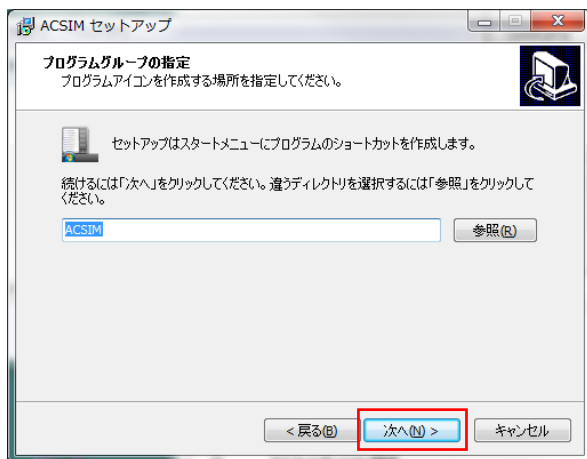
インストール先フォルダと同名のフォルダが既に存在する場合に表示されます。

「はいボタン」を押下して下さい。

※表示されない場合は「2.7 プログラムのグループの指定」…P54 へ進んで下さい。

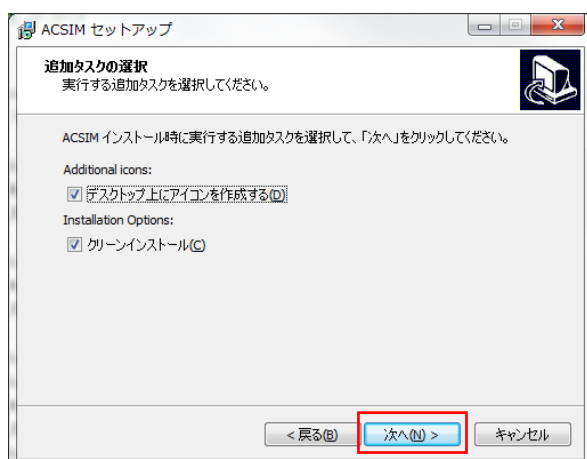


2.7. プログラムのグループの指定  
「次へボタン」を押下して下さい。



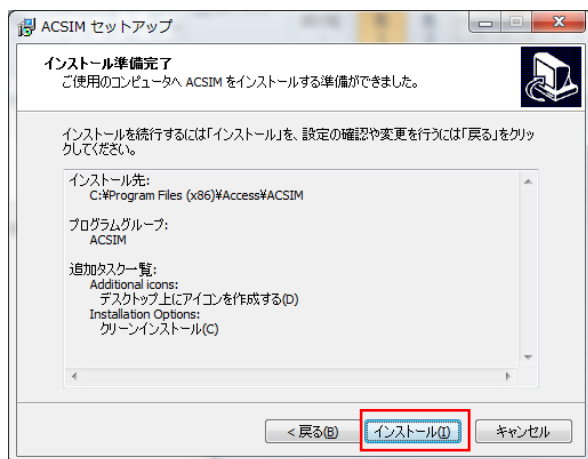
2.8. 追加タスクの選択  
オプションを確認し「次へボタン」を押下して下さい。

オプション	内容
デスクトップ上にアイコンを作成する	チェックありでデスクトップに ACSIM のショートカットを作成します。
クリーンインストール	チェックありでインストール完了後に ACSIM の設定が初期値に戻ります。既存の設定を引き継ぎたい場合はチェックを外して下さい。



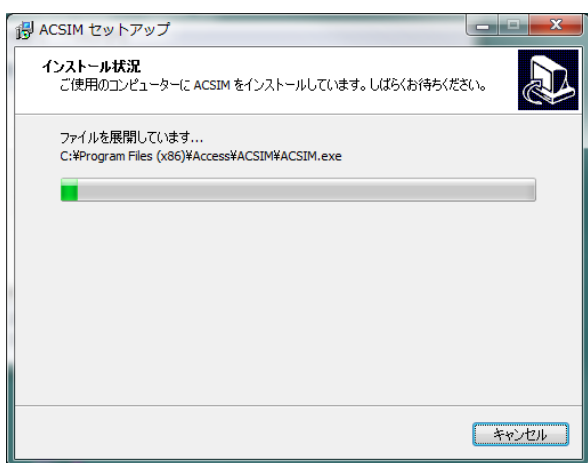
## 2.9. インストール準備完了

「インストールボタン」を押下して下さい。



## 2.10. インストール状況

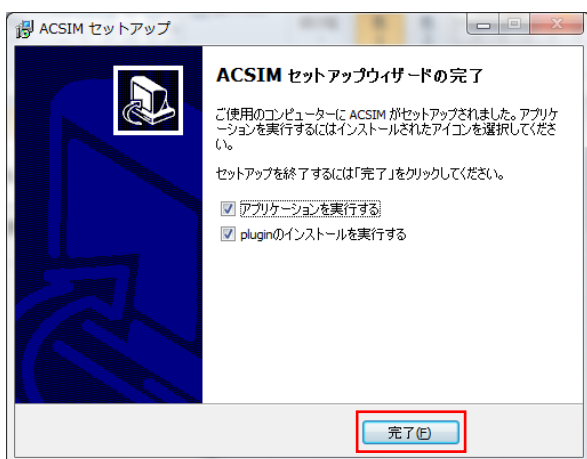
処理が完了するまでお待ち下さい。



## 2.11. インストール完了

オプションを確認し「完了ボタン」を押下して下さい。

オプション	内容
アプリケーションを実行する	チェックありでインストール完了後に「ACSIM」を実行します
plugin のインストールを実行する	チェックありでインストール完了後に「plugin のインストール」を実行します。 「8.5plugin のインストール」…P77 を参照して下さい。



※ファイアウォール等を使用している場合は「13.4 セキュリティ」…P123 を参照し、セキュリティの設定を行って下さい。



### 3. メインダイアログ

タスクトレイの下記アイコンをクリックする事でメインダイアログが表示されます。



図 5 メインダイアログ

- ① 「4. 現在の処理状況」…P58 を参照
- ② 「5. Soft 設定」…P59 を参照
- ③ 「6. デフォルトモーション」…P61 を参照
- ④ 「7. 車種別モーションを使用する」…P62 を参照
- ⑤ 「8. 設定 [Setting タブ]」…P64 を参照
- ⑥ 「11. Addon 情報 [Addon タブ]」…P84 を参照
- ⑦ 「10. モーションのサポート状況 [Support Motion タブ]」…P83 を参照
- ⑧ 「9. 処理ステータスの表示 [Status タブ]」…P80 を参照

#### 4. 現在の処理状況

現在の処理状況の表示を行います。

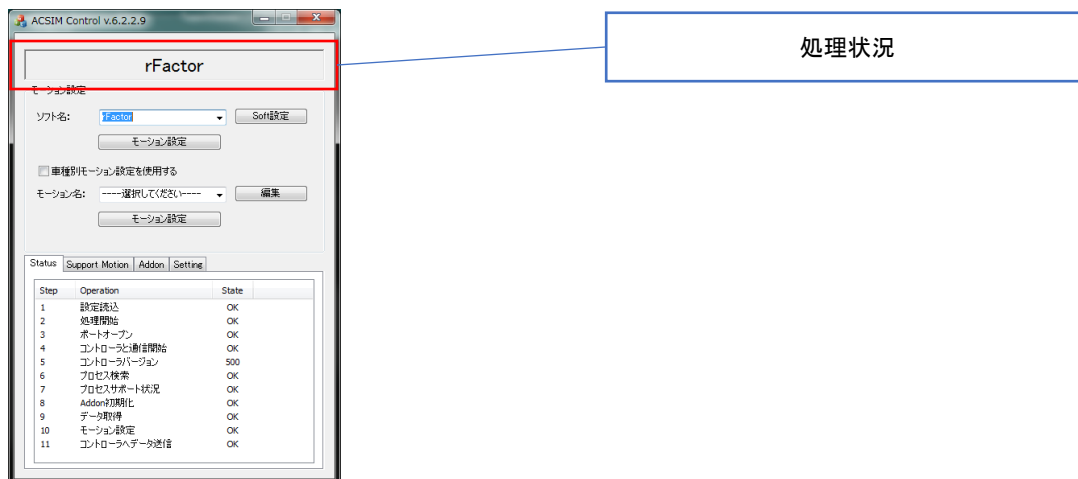


図 6 メインダイアログ

表示される文字列と内容は以下のようになっています。

表示文字列	内容
準備中	起動初期状態。 ACSIM コントローラのポートのオープン中、初期化中の状態。
プロセス検索中	プロセスを検索している状態。
[ソフト名]	サポートしているプロセス（ソフト）が見つかった状態。

## 5. Soft 設定

モーションデータの取得に必要なユーザー名、UDP/IP ポート番号の設定を行います。

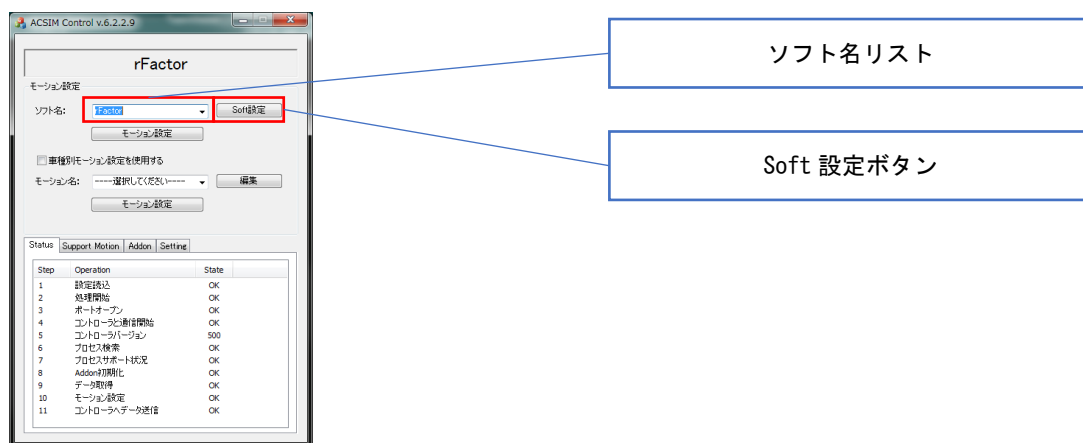


図 7 メインダイアログ

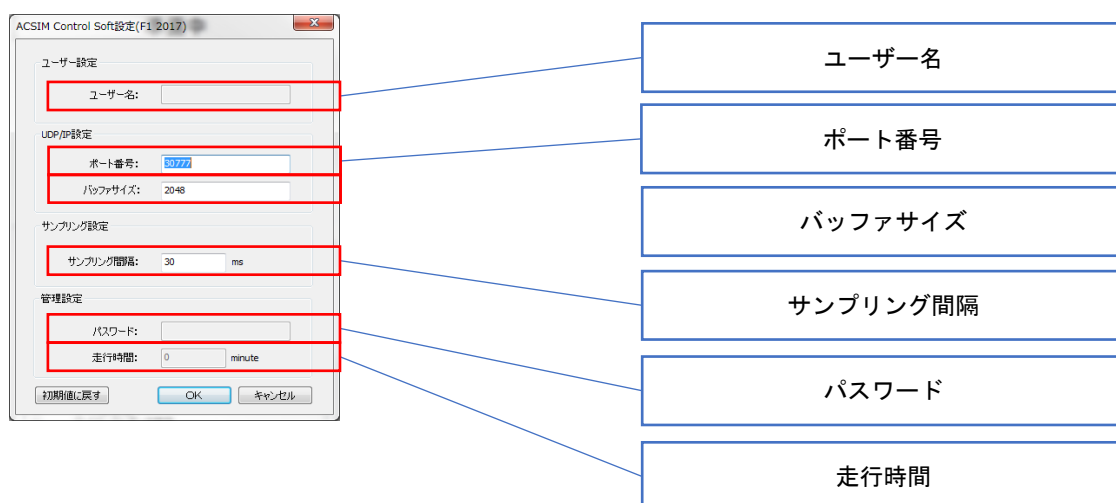


図 8 Soft 設定ダイアログ

1. ソフト名リストから設定を変更したいソフトを選択(注1)
2. 「Soft 設定ボタン」押下で Soft 設定ダイアログを開きます。(注2)

Soft 設定ダイアログの設定項目は以下のようになっています。

項目	内容
----	----

(注1) rFactor などのソフトを起動中は起動中のソフトしか選択できません。

(注2) Soft 設定ダイアログは設定が必要な項目のみ変更可能となります。

ユーザー名	現在プレイしているユーザー名を指定して下さい。 (必要な場合のみ変更可能になります)
ポート番号	UDP/IP 通信で使用するポート番号(通常は変更しないで下さい) (必要な場合のみ変更可能になります)
バッファサイズ	UDP/IP 通信時のバッファサイズを指定します。 通常は初期設定のまま変更しないでください
サンプリング間隔	モーションデータを取得する間隔をミリ秒で指定して下さい。
パスワード	管理機能パスワードの指定を行います。 管理機能を使用する場合に指定します。 管理機能を使用しない場合には空白を指定して下さい。 (管理機能が利用可能な場合のみ変更可能になります)
走行時間	管理機能で使用します。 ここで指定した時間が経過するとプレイ中のソフトの走行を中断します。 走行開始からソフトの中断までの時間を分単位で指定して下さい。 ソフトの中断を行いたくない場合には0(ゼロ)を指定して下さい。 (管理機能パスワードが正しい場合に機能します。) (管理機能が利用可能な場合のみ変更可能になります)

## 6. デフォルトモーション設定

「車種別モーションを使用する」がチェックされていない場合に使用します。プロセス名毎のデフォルトモーション設定に自動で切り替わります。

### 6.1. モーション設定

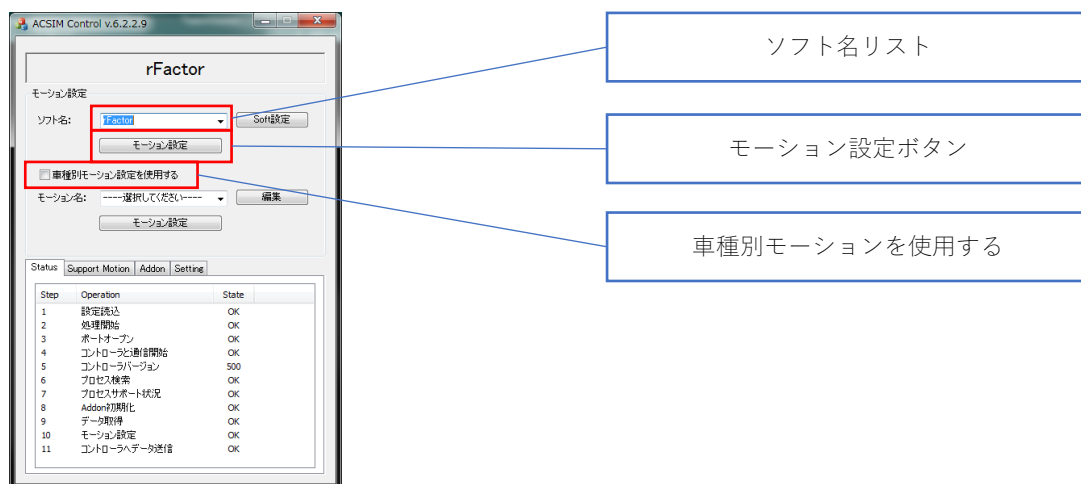


図 9 メインダイアログ

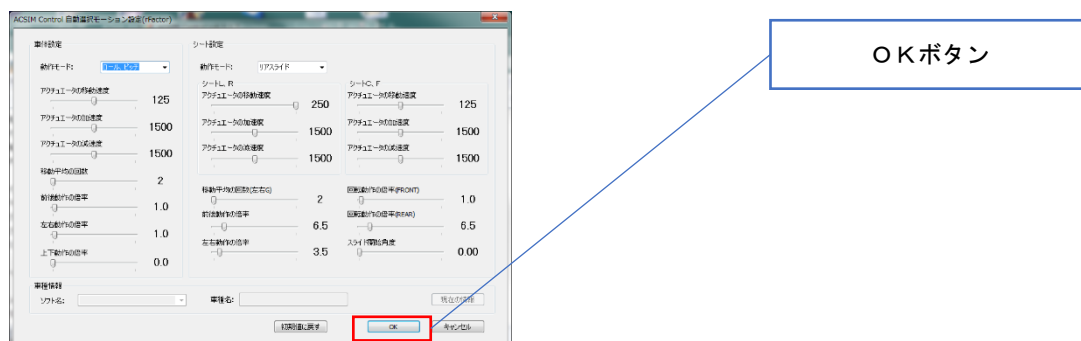


図 10 自動選択モーション設定ダイアログ

1. 「車種別モーションを使用する」のチェックを外します。
2. ソフト名リストから設定を変更したいソフト名を選択します。(注3)
3. 「モーション設定ボタン」押下でモーション設定ダイアログが開きます。(注4)
4. 「OK ボタン」押下で編集結果を保存しメインダイアログに戻ります。

(注3) rFactor などのソフトを起動中は起動中のソフトしか選択できません。

(注4) 設定方法は、「12. モーション設定」を参照

## 7. 車種別モーションを使用する

「車種別モーションを使用する」がチェックされている場合に使用します。プロセス名、車種名で紐付されたモーション設定に自動で切り替わります。紐付されたモーション設定が存在しない場合はプロセス名毎のデフォルトモーション設定に自動で切り替わります。

### 7.1. モーション設定

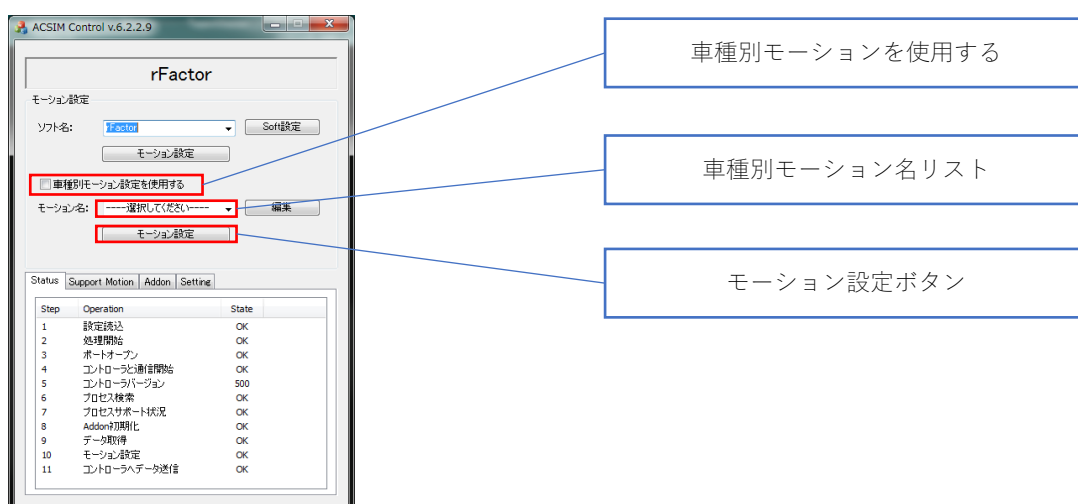


図 11 メインダイアログ



図 12 指定モーション設定ダイアログ

1. 「車種別モーションを使用する」をチェックします。
2. 車種別モーション名リストから設定を変更したいモーション名を選択します。(注5)
3. 「モーション設定ボタン」押下でモーション設定ダイアログが開きます。(注6)
4. 「OK ボタン」押下で編集結果を保存しメインダイアログに戻ります。

(注5) rFactor などのソフトを起動中は現在起動中のソフトしか選択できません。

(注6)設定方法は、「12. モーション設定」を参照

## 7.2. 編集

「車種別モーションを使用する」で選択するモーション名リストの追加、削除、名称変更を行います。

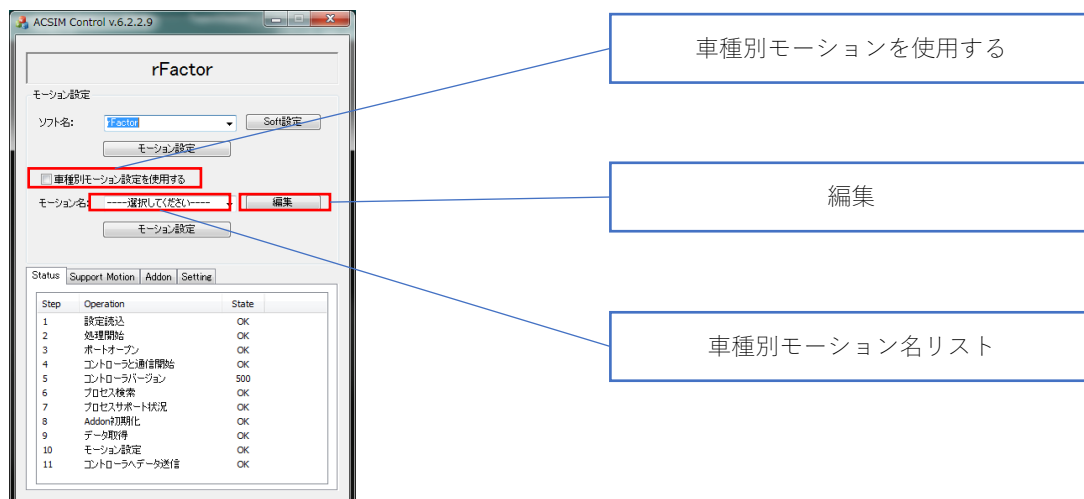


図 13 メインダイアログ

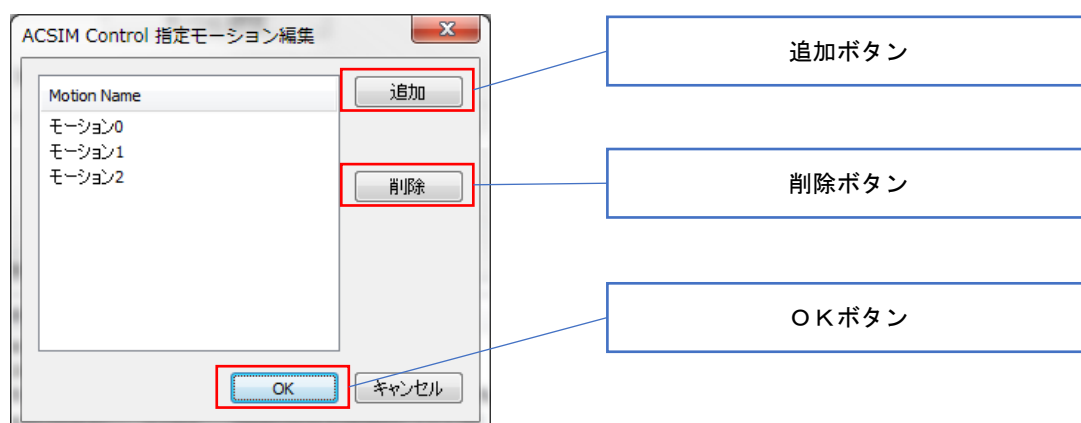


図 14 指定モーション編集ダイアログ

1. 「車種別モーションを使用する」をチェックします。
2. 「編集ボタン」押下で指定モーション編集ダイアログが開きます。
3. 「追加ボタン」押下で新たにモーション設定を追加します。
4. 「削除ボタン」押下で選択しているモーション設定の削除を行います。
5. リストの Motion Name 部分に表示されているモーション名をクリックすることでモーション名の編集を行います。
6. 「OK ボタン」押下で編集結果を保存しメインダイアログに戻ります。

## 8. 設定 [Setting タブ]

ACSIM コントローラの通信ポート設定を行います。

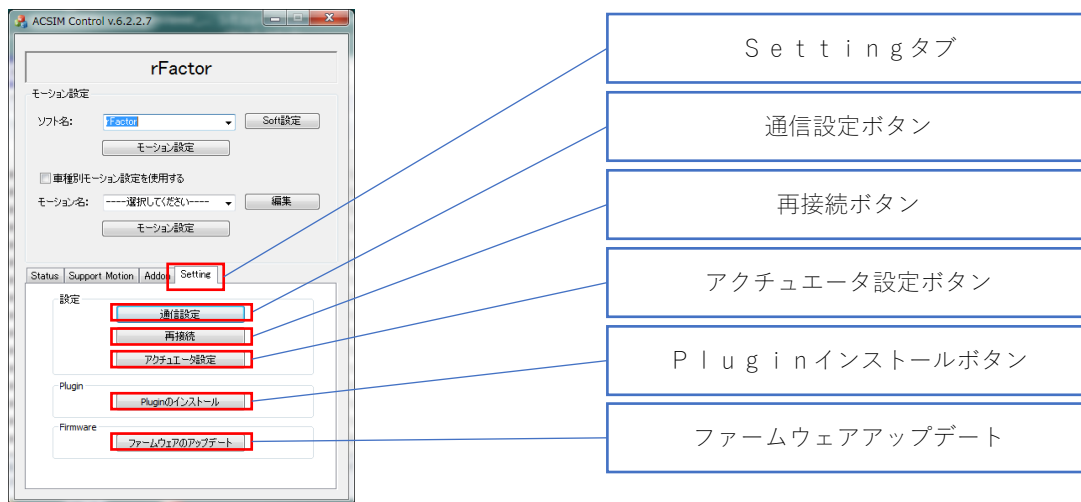


図 15 メインダイアログ

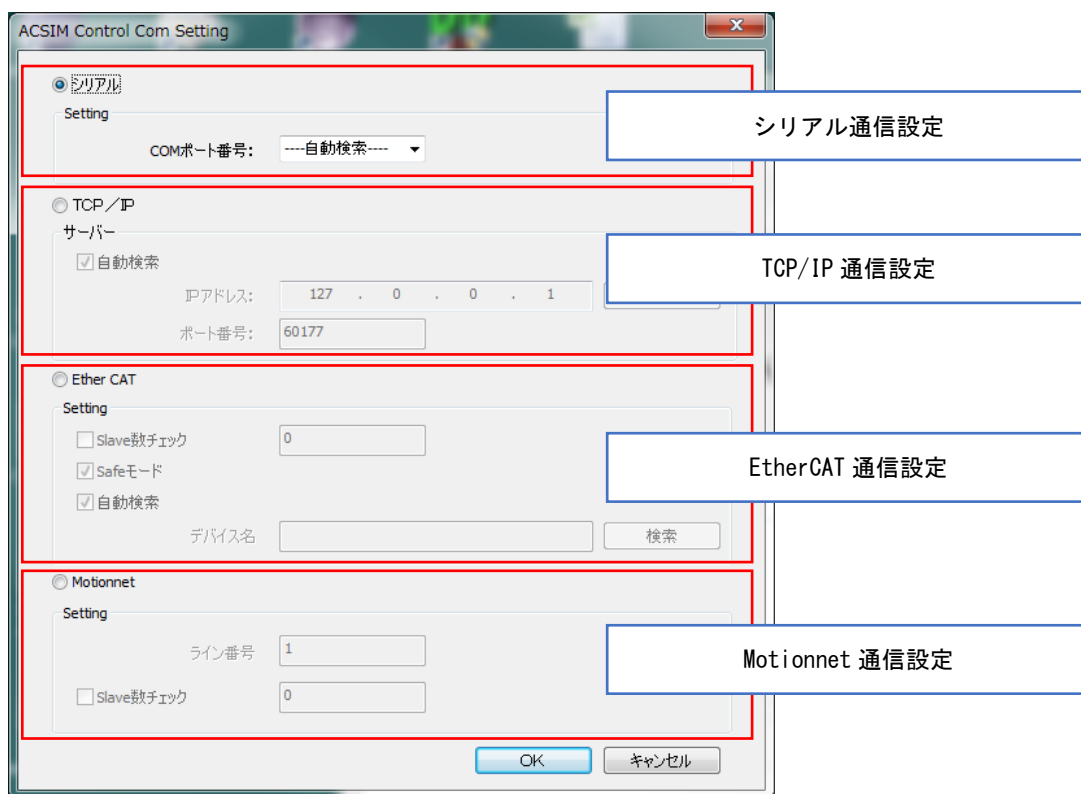


図 16 通信設定ダイアログ



## 8.1. 通信設定

1. メインダイアログの「Setting タブ」を押下します。
2. 「通信設定ボタン」押下で通信設定ダイアログが開きます。
3. 通信設定ダイアログの通信設定から通信方法を選択します。(注7)
4. 「OK ボタン」押下で設定を終了しメインダイアログに戻ります。

## 8.2. 再接続

1. 「再接続ボタン」押下で現在設定されている ACSIM コントローラへ再接続を行います

## 8.3. 通信設定詳細

### 8.3.1. シリアル通信

項目	内容
COM ポート番号	シリアル通信用のポート番号の指定を行います。 【---自動検索--】を選択で ACSIM コントローラの接続されている COM ポートの自動検知を行います。

### 8.3.2. TCP/IP 通信設定

項目	内容
自動検索	TCP/IP 通信用の IP アドレス、ポート番号を自動検知する場合にチェックを付けてください。
IP アドレス	TCP/IP 通信用の IP アドレスの指定を行います。 【自動検索】にチェックが付いていない場合に使用します。
ポート番号	TCP/IP 通信用のポート番号の指定を行います。 【自動検索】にチェックが付いていない場合に使用します。

---

(注7) 使用可能な通信方法のみ選択可能です。使用できない通信方法は選択不可状態となります。

### 8.3.3. EtherCAT 通信設定

項目	内容
Slave 数チェック	接続されるアクチュエータの数の指定を行います。 指定数と違う場合には通信エラーとします。
Safe モード	アクチュエータにアラームが発生時の動作の指定を行います。 チェックありの場合、アラーム発生で全てのアクチュエータを停止します。 チェックなしの場合、アラームが発生しているアクチュエータのみ停止します。
自動検索	EtherCAT 通信に使用するデバイスを自動検知する場合にチェックを付けてください。
デバイス名	EtherCAT 通信用のデバイス名の指定を行います。 【自動検索】にチェックが付いていない場合に使用します。

### 8.3.4. Motionnet 通信設定

項目	内容
ライン番号	Motionnet 通信ラインのライン番号の指定を行います。 Motionnet センターボードユニットのライン番号になります。
Slave 数チェック	接続されるアクチュエータの数の指定を行います。 指定数と違う場合には通信エラーとします。

## 8.4. アクチュエータ設定

### 8.4.1. 6軸仕様

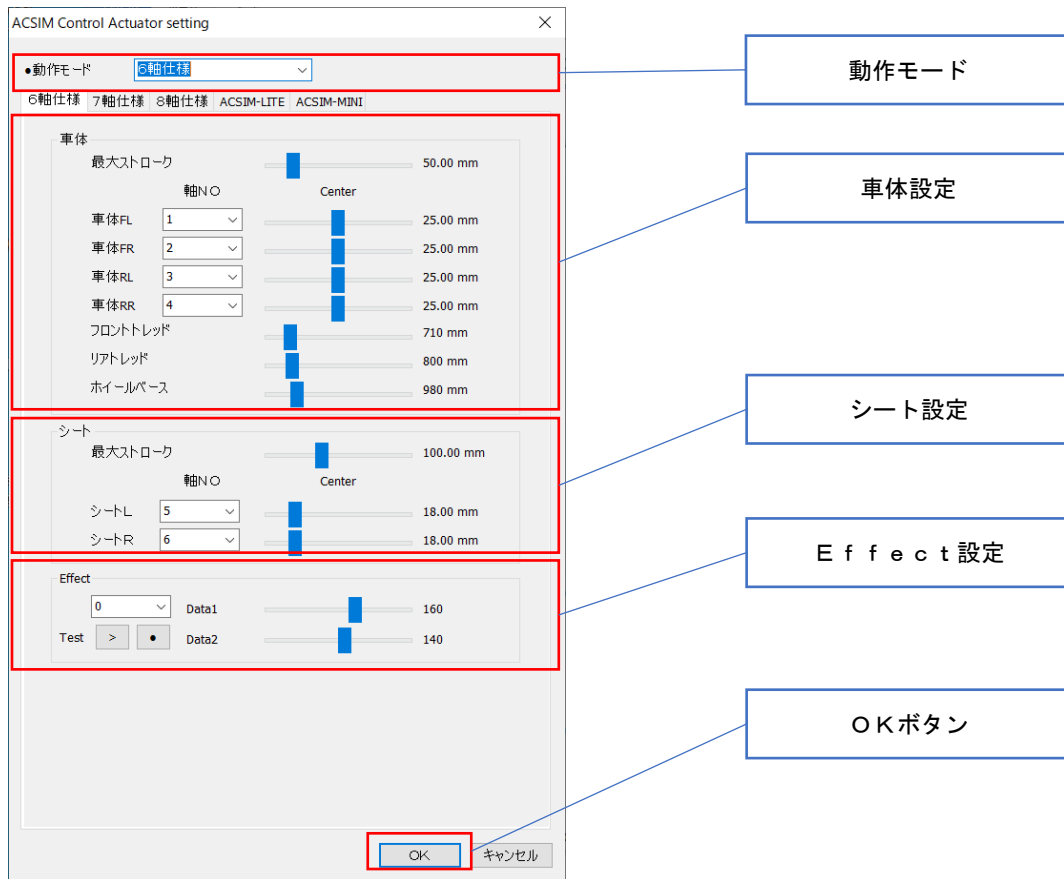


図 17 アクチュエータ設定

項目	内容
動作モード	動作モードの選択を行います。 動作モードによりアクチュエータの制御方法が変わります。
最大ストローク	アクチュエータの最大移動量の設定を行います。
中心	アクチュエータを稼働させる中止位置の設定を行います。
軸NO	アクチュエータの軸設定を行います。
Effect	タイヤロック時などにアクチュエータを振動させる場合に使用します。

項目	内容
車体 FL	車体、左前のアクチュエータ
車体 FR	車体、右前のアクチュエータ
車体 RL	車体、左後のアクチュエータ
車体 RR	車体、右後のアクチュエータ
フロントトレッド	車体 FL、車体 FR アクチュエータ間の距離
リアトレッド	車体 RL、車体 RR アクチュエータ間の距離
ホイールベース	横から見た車体 FL、車体 RL アクチュエータ間の距離
シート L	シート、左のアクチュエータ
シート R	シート、右のアクチュエータ
Effect Data1	エフェクト時間
Effect Data2	エフェクトふり幅

### 8.4.2. 7 軸仕様

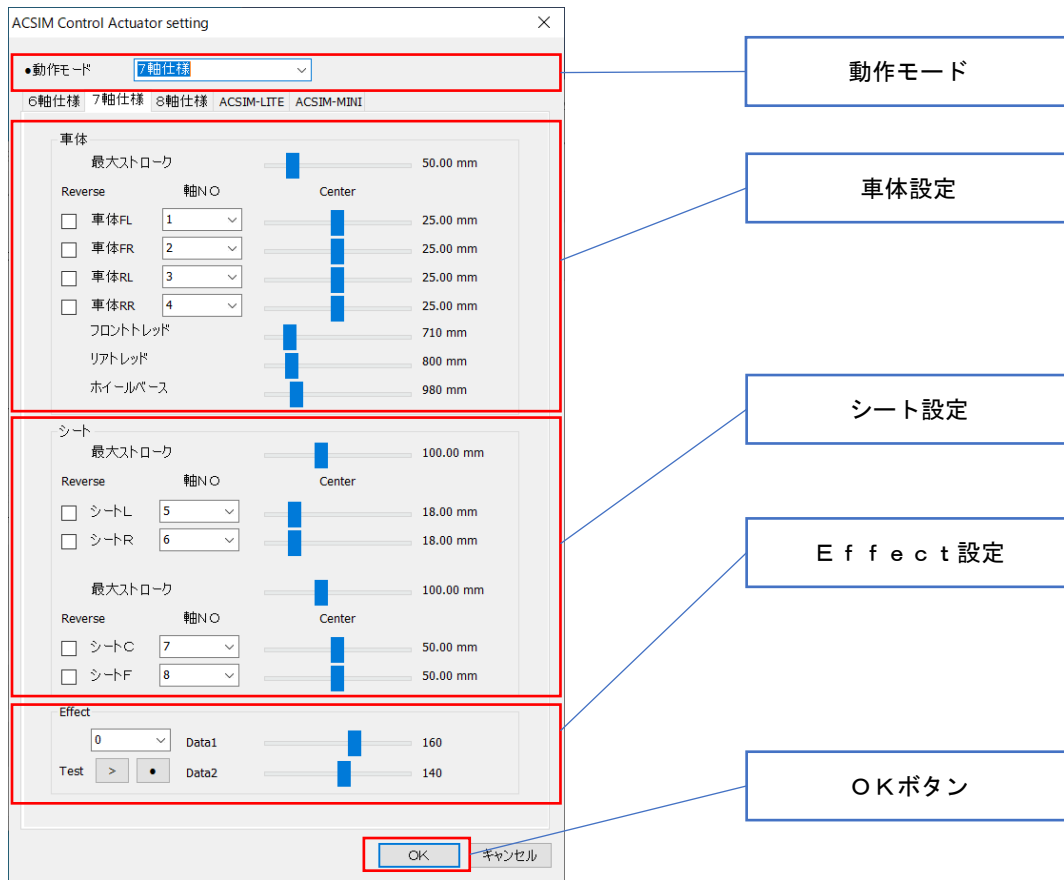


図 18 アクチュエータ設定

項目	内容
動作モード	動作モードの選択を行います。 動作モードによりアクチュエータの制御方法が変わります。
最大ストローク	アクチュエータの最大移動量の設定を行います。
中心	アクチュエータを稼働させる中止位置の設定を行います。
軸NO	アクチュエータの軸設定を行います。
Reverse	アクチュエータの動作方向を逆にします。
Effect	タイヤロック時などにアクチュエータを振動させる場合に使用します。

項目	内容
車体 FL	車体、左前のアクチュエータ
車体 FR	車体、右前のアクチュエータ
車体 RL	車体、左後のアクチュエータ
車体 RR	車体、右後のアクチュエータ
フロントトレッド	車体 FL、車体 FR アクチュエータ間の距離
リアトレッド	車体 RL、車体 RR アクチュエータ間の距離
ホイールベース	横から見た車体 FL、車体 RL アクチュエータ間の距離
シート L	シート、左のアクチュエータ
シート R	シート、右のアクチュエータ
シート C	シート、後の回転用アクチュエータ
シート F	シート、前の回転用アクチュエータ
Effect Data1	エフェクト時間
Effect Data2	エフェクトふり幅

### 8.4.3. 8軸仕様

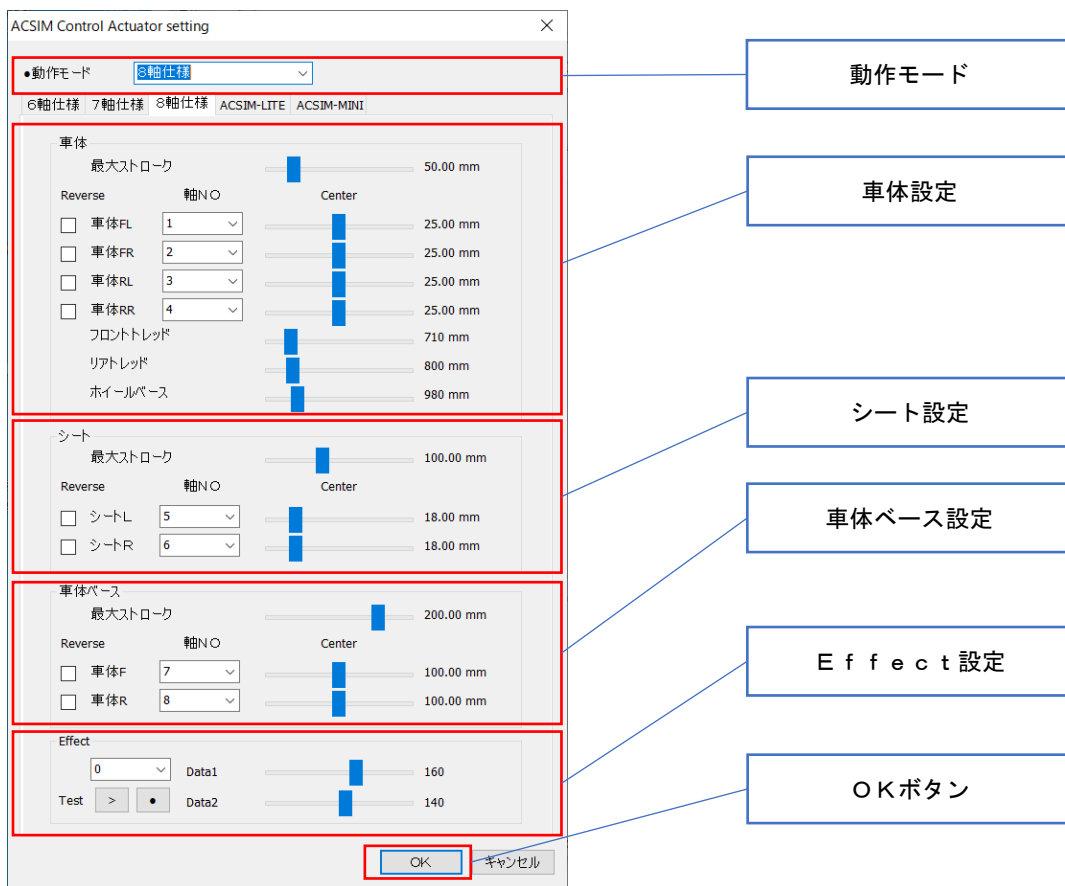


図 19 アクチュエータ設定

項目	内容
動作モード	動作モードの選択を行います。 動作モードによりアクチュエータの制御方法が変わります。
最大ストローク	アクチュエータの最大移動量の設定を行います。
中心	アクチュエータを稼働させる中止位置の設定を行います。
軸NO	アクチュエータの軸設定を行います。
Reverse	アクチュエータの動作方向を逆にします。
Effect	タイヤロック時などにアクチュエータを振動させる場合に使用します。

項目	内容
車体 FL	車体、左前のアクチュエータ
車体 FR	車体、右前のアクチュエータ
車体 RL	車体、左後のアクチュエータ
車体 RR	車体、右後のアクチュエータ
フロントトレッド	車体 FL、車体 FR アクチュエータ間の距離
リアトレッド	車体 RL、車体 RR アクチュエータ間の距離
ホイールベース	横から見た車体 FL、車体 RL アクチュエータ間の距離
シート L	シート、左のアクチュエータ
シート R	シート、右のアクチュエータ
車体 F	車体ベース前方のアクチュエータ
車体 R	車体ベース後方のアクチュエータ
Effect Data1	エフェクト時間
Effect Data2	エフェクトふり幅



#### 8.4.4. ACSIM-LITE

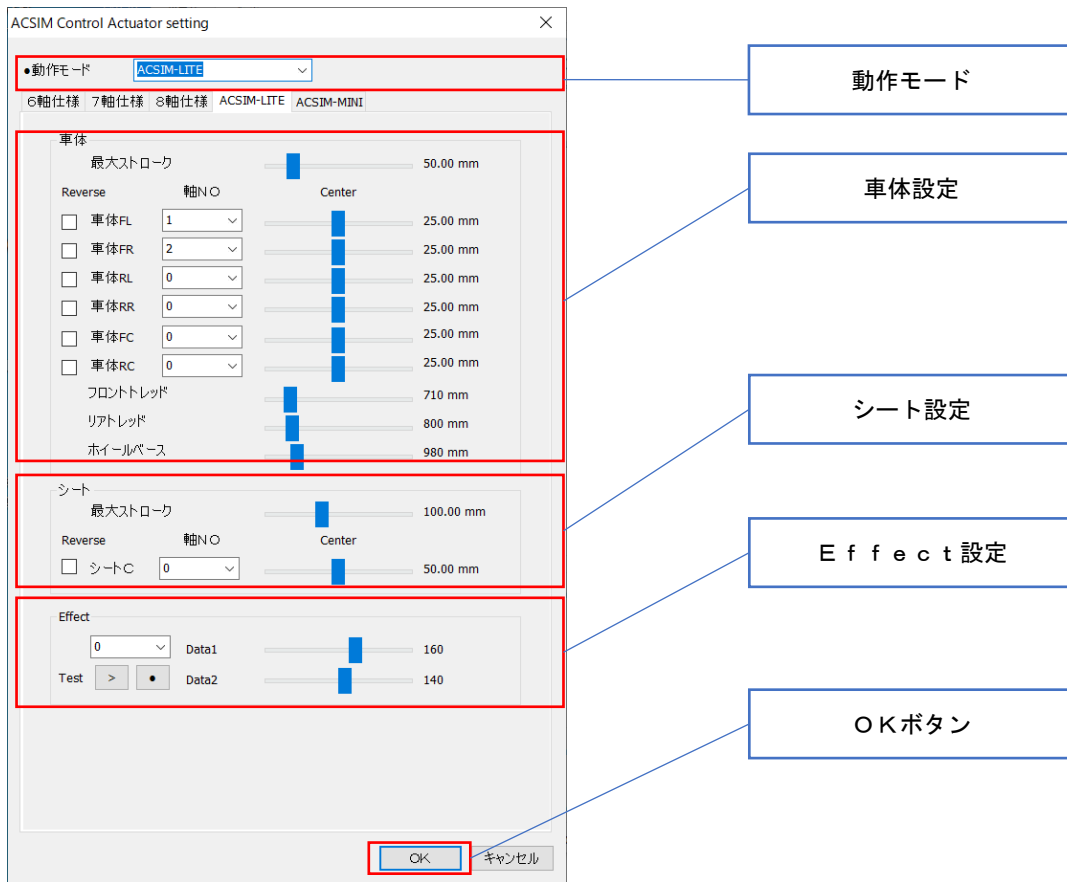


図 20 アクチュエータ設定

項目	内容
動作モード	動作モードの選択を行います。 動作モードによりアクチュエータの制御方法が変わります。
最大ストローク	アクチュエータの最大移動量の設定を行います。
中心	アクチュエータを稼働させる中止位置の設定を行います。
軸NO	アクチュエータの軸設定を行います。
Reverse	アクチュエータの動作方向を逆にします。
Effect	タイヤロック時などにアクチュエータを振動させる場合に使用します。

項目	内容
車体 FL	車体、左前のアクチュエータ
車体 FR	車体、右前のアクチュエータ
車体 RL	車体、左後のアクチュエータ
車体 RR	車体、右後のアクチュエータ
車体 FC	車体、前中心のアクチュエータ
車体 RC	車体、後中心のアクチュエータ
フロントトレッド	車体 FL、車体 FR アクチュエータ間の距離
リアトレッド	車体 RL、車体 RR アクチュエータ間の距離
ホイールベース	横から見た車体 FL、車体 RL アクチュエータ間の距離
シート C	シート、後の回転用アクチュエータ
Effect Data1	エフェクト時間
Effect Data2	エフェクトふり幅

## 8.4.5. ACSIM-MINI

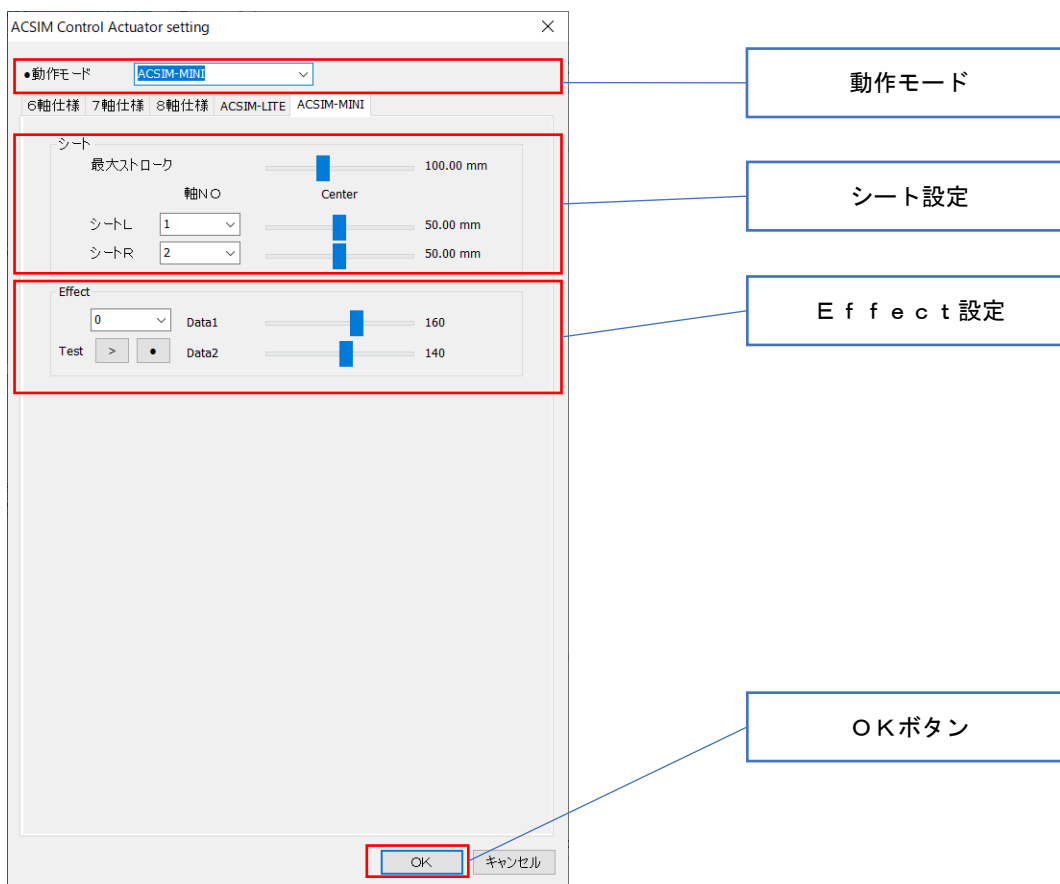


図 21 アクチュエータ設定

項目	内容
動作モード	動作モードの選択を行います。 動作モードによりアクチュエータの制御方法が変わります。
最大ストローク	アクチュエータの最大移動量の設定を行います。
中心	アクチュエータを稼働させる中止位置の設定を行います。
軸NO	アクチュエータの軸設定を行います。
Effect	タイヤロック時などにアクチュエータを振動させる場合に使用します。

項目	内容
シート L	シート、左のアクチュエータ
シート R	シート、右のアクチュエータ
Effect Data1	エフェクト時間
Effect Data2	エフェクトふり幅

## 8.5. plugin のインストール

plugin のインストールを行います。

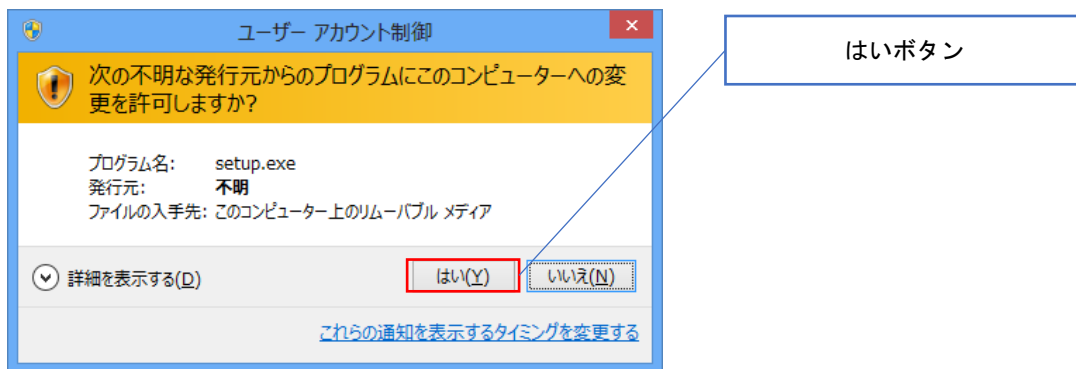
rFactor などには ACSIM 用 plugin をインストールする必要があります。

インストール作業時にユーザーアカウント制御が有効になっている Windows の場合に、下記のようなダイアログが表示されることがあります。

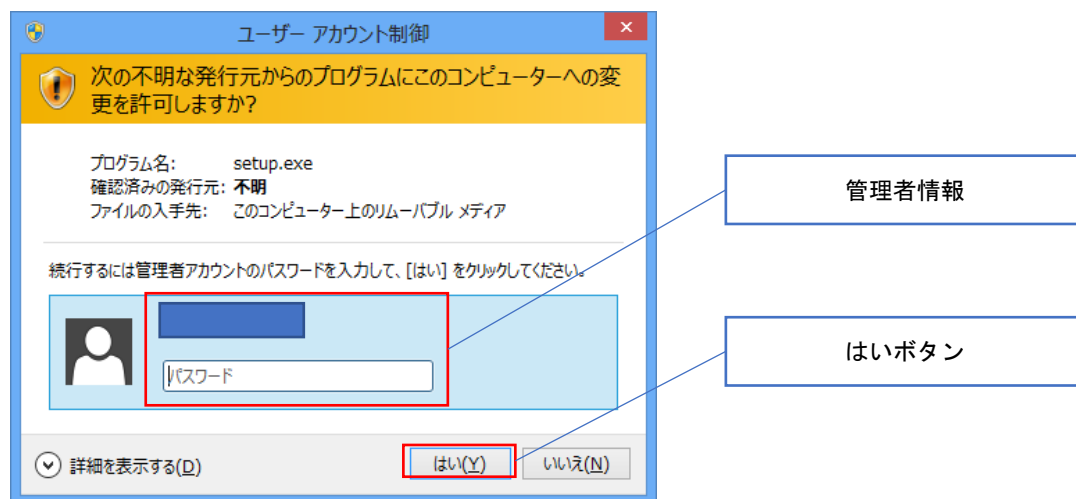
管理者でログインしている場合には「はいボタン」を押下して下さい。

制限ユーザーでログインしている場合には管理者のアカウント情報を入力し「はいボタン」を押下して下さい。

### 管理者でログインしている場合



### 管理者以外でログインしている場合



### 8.5.1. 自動で plugin のインストールを行う

各ソフトへの plugin のインストールを自動で行います。

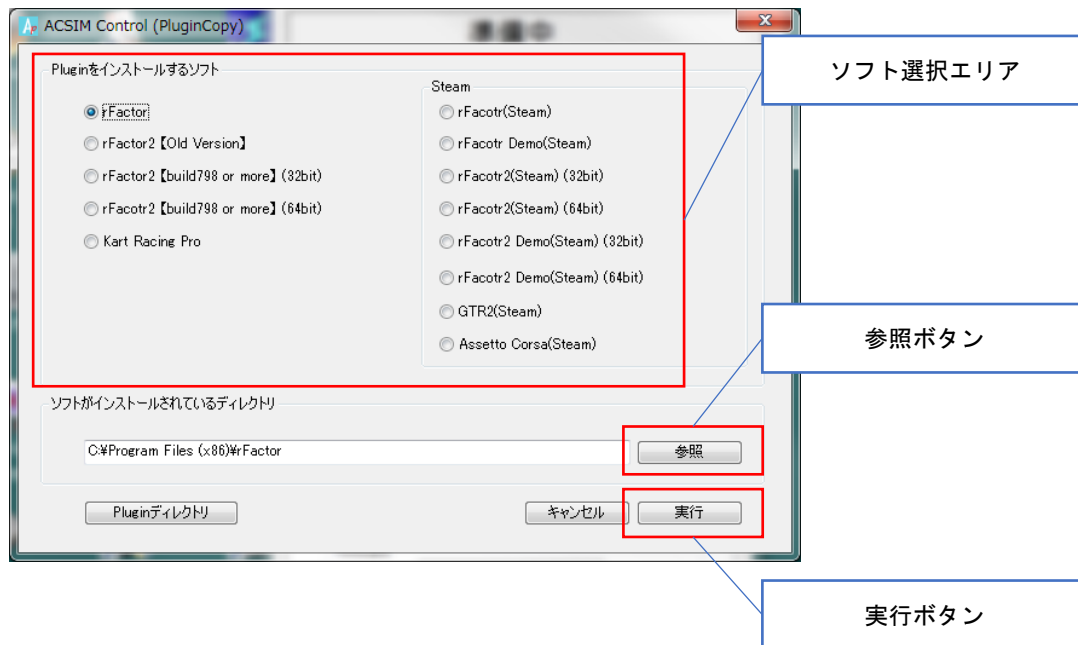


図 22 PluginCopy ダイアログ

#### ● plugin インストール

1. メインダイアログの「Setting タブ」を押下します。
2. 「plugin インストールボタン」を押下します。
3. PluginCopy ダイアログが表示されます。
4. 「ソフト選択エリア」からソフトを選択します。選択したソフトがデフォルトディレクトリにインストールされている場合には自動でフォルダが設定されるので、6 の操作を行って下さい。
5. 「参照ボタン」押下で 4 で選択したソフトのインストールされているディレクトリを選択します。
6. 「実行ボタン」を押下します。

※フォルダのアクセス権限が正しく設定されておらず、plugin のコピーが正しく行えない場合があります。その場合は「8.5.2 手動で plugin のインストールを行う」…P79 で plugin のインストールを行って下さい。

## 8.5.2. 手動で plugin のインストールを行う

各ソフトへの plugin のインストールを手動で行います。

通常は「**8.5.1 自動で plugin のインストールを行う**」…P78 で plugin のインストールを行って下さい。

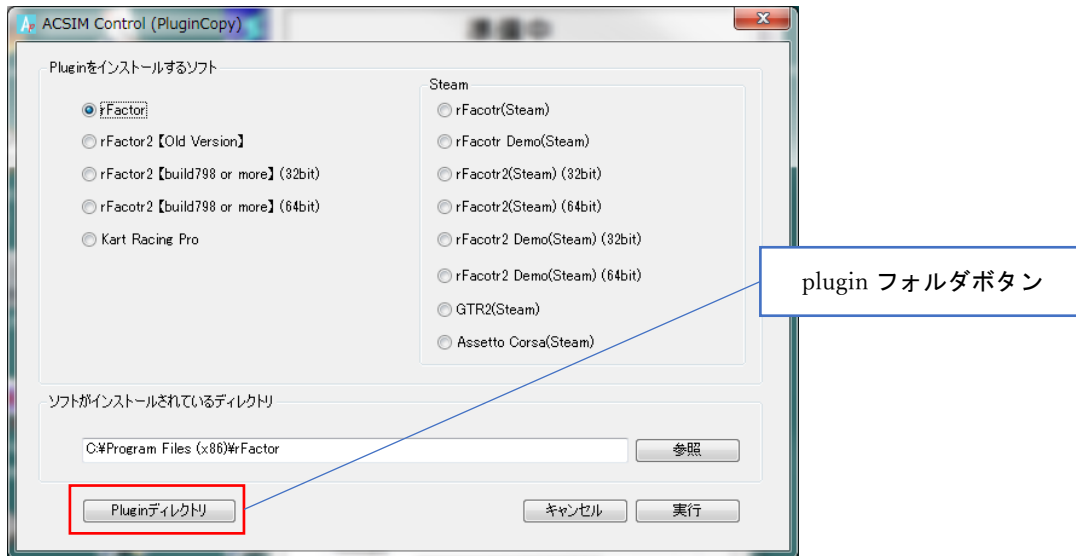


図 23 PluginCopy ダイアログ

### ● plugin インストール

1. メインダイアログの「Setting タブ」を押下します。
2. 「plugin インストールボタン」を押下します。
3. PluginCopy ダイアログが表示されます。
4. 「plugin フォルダボタン」を押下します。
5. plugin の入ったフォルダが表示されます。
6. 「13.2 ソフト連動設定」…P96 に従い plugin のコピーを行って下さい。

## 9. 処理ステータスの表示 [Status タブ]

現在の処理ステータスの確認を行います。

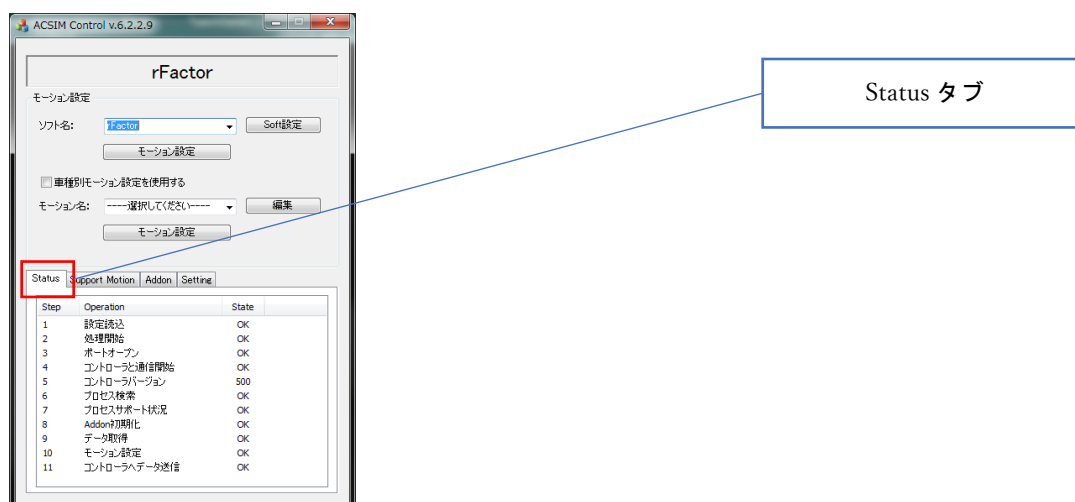


図 24 メインダイアログ

メインダイアログの「Status タブ」押下で現在の処理ステータスを表示します。

表示される内容は以下のようになっています。

Step	Operation	内容
1	設定読み込み	設定ファイルの読み込み、Addonの読み込みが正常に終わっていれば「OK」が表示される。 異常が発生した場合は「NG」が表示される。
2	処理開始	処理スレッドが正常に開始されていれば「OK」が表示される。 異常が発生した場合は「NG」が表示される。



3	ポートオープン	<p>設定されたポートのオープンに成功した場合「OK」が表示される。</p> <p>異常が発生した場合は「NG」が表示される。</p> <p>「NG」が表示される場合、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ACSIM コントローラが PC に正しく接続されているか確認して下さい。</li> <li>●ACSIM コントローラの電源を OFF にし、再度 ON にして動作するか確認して下さい。</li> <li>●「8. 設定 [Setting タブ]」…P64 を参照し、ACSIM コントローラの COM ポート番号の指定を確認して下さい。</li> <li>●ACSIM コントローラと PC を繋いでいる USB ケーブルの PC 側の USB ポートを変更し動作するか確認して下さい。</li> <li>●ACSIM コントローラの VCP Driver が正しくインストールされているか確認して下さい。</li> </ul>
4	コントローラと通信開始	<p>ACSIM コントローラとの通信に成功した場合「OK」が表示される。</p> <p>異常が発生した場合は「NG」が表示される。</p> <p>「NG」が表示される場合、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ACSIM コントローラが PC に正しく接続されているか確認して下さい。</li> <li>●ACSIM コントローラの電源を OFF にし、再度 ON にして動作するか確認して下さい。</li> <li>●「8. 設定 [Setting タブ]」…P64 を参照し、ACSIM コントローラの COM ポート番号の指定を確認して下さい。</li> <li>●ACSIM コントローラと PC を繋いでいる USB ケーブルの PC 側の USB ポートを変更し動作するか確認して下さい。</li> <li>●ACSIM コントローラの VCP Driver が正しくインストールされているか確認して下さい。</li> </ul>
5	コントローラバージョン	<p>ACSIM コントローラのバージョン情報が表示されます。</p>

6	プロセス検索	サポートしているプロセス（ソフト）が見つかった場合は「OK」が表示される。 検索中の場合は「検索中」が表示される。
7	プロセスサポート状況	サポートしているプロセス（ソフト）の場合は「OK」が表示される。 サポート外のプロセス（ソフト）の場合は「NG」が表示される。 「NG」が表示される場合、 ●「13.2 ソフト連動設定」…P96を参照し設定を行ってください。
8	Addon 初期化	アドオンの初期化、プロセス内のユーザーの検索に成功した場合は「OK」が表示される。 異常が発生した場合は「NG」が表示される。 「NG」が表示される場合、 ●「5. Soft 設定」…P59を参照し、ユーザー名を確認して下さい。
9	データ取得	プロセス（ソフト）からのデータ取得が正常に終了した場合は「OK」が表示される。 異常が発生した場合は「NG」が表示される。 「NG」が表示される場合、 ●「13.2 ソフト連動設定」…P96を参照し設定を行ってください。
10	モーション設定	モーション設定が正常に行われた場合は「OK」が表示される。 異常が発生した場合は「NG」が表示される。
11	コントローラヘデータ送信	ACSIM コントローラへのデータ送信が正常に終了した場合は「OK」が表示される。 異常が発生した場合は「NG」が表示される。

## 10. モーションのサポート状況 [Support Motion タブ]

検索したプロセス（ソフト）のモーションのサポート状況の表示を行います。

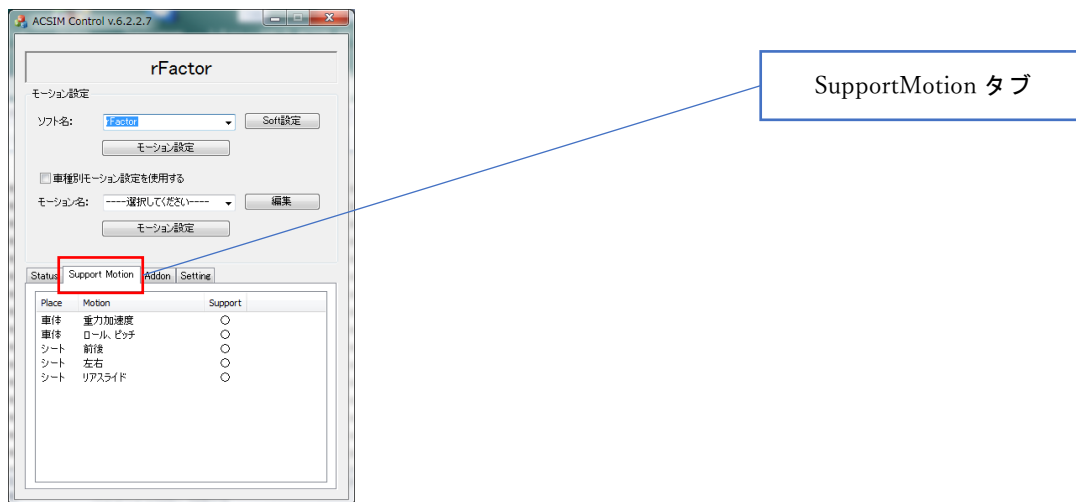


図 25 メインダイアログ

メインダイアログの「Support Motion タブ」押下で検索したプロセスのモーションのサポート状況を表示します。

表示される内容は以下のようになっています。

Place	Motion	内容
車体	重力加速度	モーション設定の[車体設定] –[動作モード]–[重力加速度]が動作可能な場合「○」が表示される。 動作不可の場合「×」が表示される。
車体	ロール・ピッチ	モーション設定の[車体設定] –[動作モード]–[ロール・ピッチ]が動作可能な場合「○」が表示される。 動作不可の場合「×」が表示される。
シート	リアスライド量のみ (回転)	モーション設定の[シート設定] –[動作モード]–[リアスライド量のみ]が動作可能な場合「○」が表示される。 動作不可の場合「×」が表示される。
シート	前後	シートの前後動画が 動作可能な場合「○」が表示される。 動作不可の場合「×」が表示される。

## 11. Addon 情報 [Addon タブ]

読み込まれている Addon の情報の表示を行います。

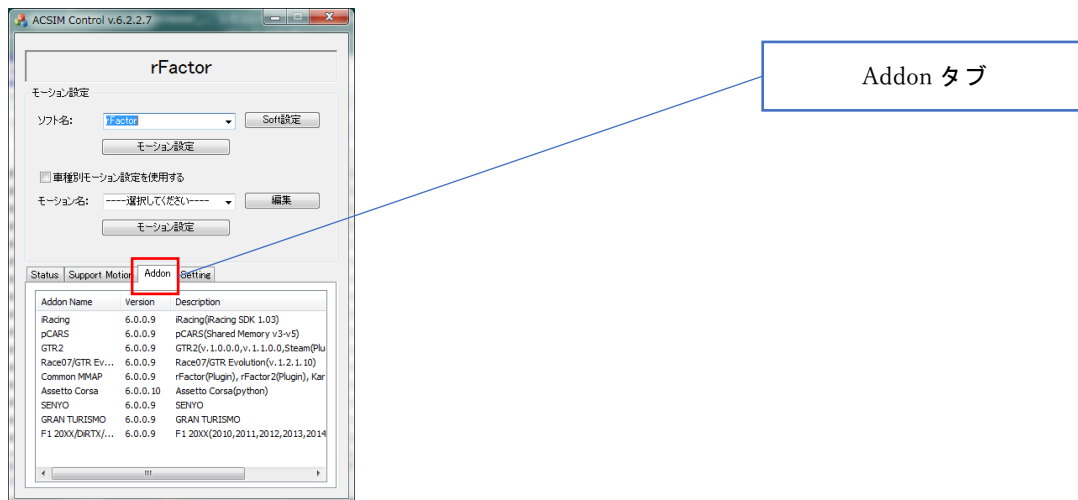


図 26 メインダイアログ

「Addon タブ」押下で読み込んだ Addon の情報を表示します。

項目	内容
Addon Name	アドオン名称
Version	アドオンのバージョン情報
Description	アドオンの説明

## 12. モーション設定

車体、シートそれぞれのモーション設定を行います。

### 12.1. 車体設定

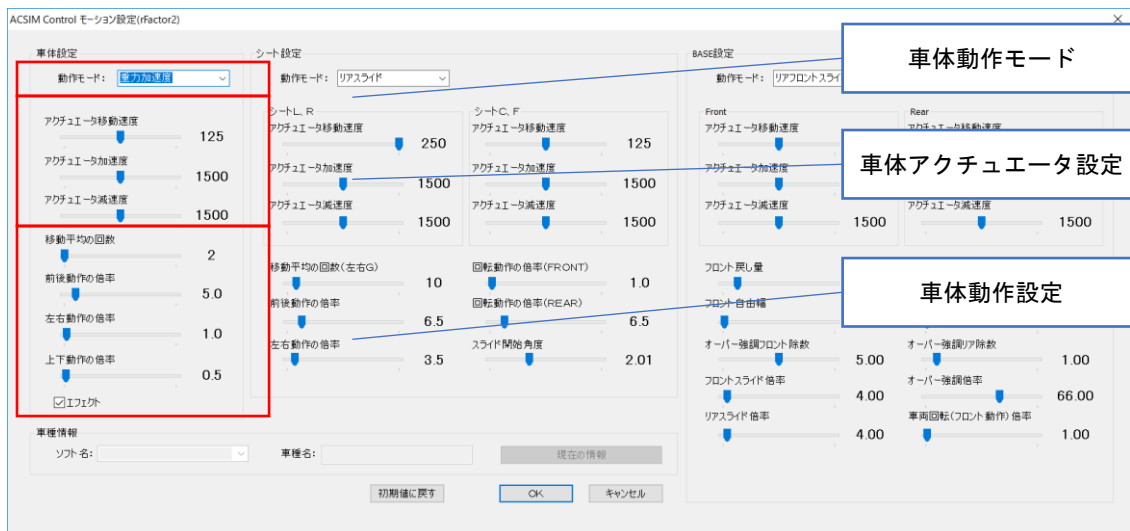


図 27 モーション設定ダイアログ

車体動作モードは以下のようにになっています。

動作モード	内容
動作させない	車体を動作させない。
重力加速度	重力加速度により車体を動作させる。 車体の前後動作、左右動作を重力加速度により行います。
ロール、ピッチ	ロール、ピッチにより車体を動作させる。 車体の前後動作、左右動作をロール、ピッチにより行います。

車体アクチュエータ設定は以下のようにになっています。

動作設定	内容
アクチュエータの移動速度	アクチュエータを移動させる速度。
アクチュエータの加速度	アクチュエータが加速方向に動作する場合の加速度。
アクチュエータの減速度	アクチュエータが減速方向に動作する場合の減速度。

車体動作設定は以下のようになっています。

動作設定	内容
移動平均の回数	ここで指定された回数分、プロセスから取得したデータを平均して ACSIM コントローラへ送信する。
前後動作の倍率	前後動作の倍率を指定します。
左右動作の倍率	左右動作の倍率を指定します。
上下動作の倍率	上下動作の倍率を指定します。
エフェクト	タイヤロック時のエフェクトの ON,OFF を指定します。 チェックあり：ON チェックなし：OFF

動作モード	動作に影響する軸
6 軸仕様	車体 FL、車体 FR、車体 RL、車体 RR
7 軸仕様	車体 FL、車体 FR、車体 RL、車体 RR
8 軸仕様	車体 FL、車体 FR、車体 RL、車体 RR
ACSIM-LITE	車体 FL、車体 FR、車体 RL、車体 RR、車体 FC、車体 RC
ACSIM-MINI	該当軸なし

## 12.2. シート設定

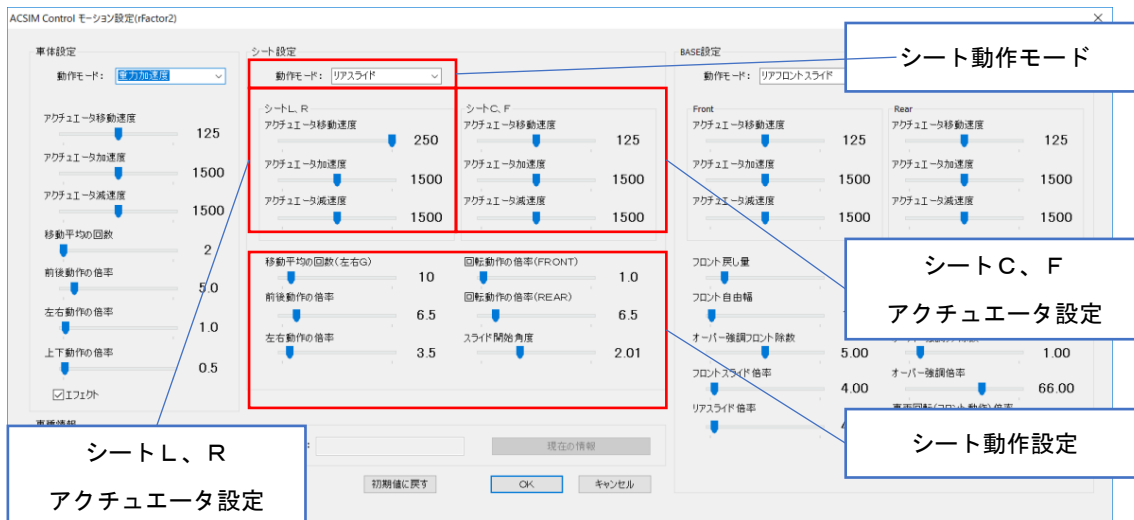


図 28 モーション設定ダイアログ

### シート用アクチュエータの種類

種類	内容
シート L	シート、左のアクチュエータ
シート R	シート、右のアクチュエータ
シート C	シート、後の回転用アクチュエータ
シート F	シート、前の回転用アクチュエータ

シート動作モードは以下のようになっています。

動作モード	内容
動作させない	シートを動作させない。
リアスライド	リアスライド量によりシートを動作させる。

シートL、Rアクチュエータ設定は以下のようになっています。

動作設定	内容
アクチュエータの移動速度	アクチュエータを移動させる速度。
アクチュエータの加速度	アクチュエータが加速方向に動作する場合の加速度。
アクチュエータの減速度	アクチュエータが減速方向に動作する場合の減速度。

シート C、F アクチュエータ設定は以下のようになっています。

動作設定	内容
アクチュエータの移動速度	アクチュエータを移動させる速度。
アクチュエータの加速度	アクチュエータが加速方向に動作する場合の加速度。
アクチュエータの減速度	アクチュエータが減速方向に動作する場合の減速度。

シート動作設定は以下のようになっています。

動作設定	内容
移動平均の回数(左右 G)	ここで指定された回数分、プロセスから取得したデータを平均して ACSIM コントローラへ送信する。 この設定は左右 G のみに適用されます。
前後動作の倍率	ここで指定された倍率分、プロセスから取得したシート前後動作のデータを倍にして ACSIM コントローラへ送信する。
左右動作の倍率	ここで指定された倍率分、プロセスから取得したシート左右動作のデータを倍にして ACSIM コントローラへ送信する。
回転動作の倍率(REAR)	ここで指定された倍率分、プロセスから取得したシートのリア回転動作のデータを倍にして ACSIM コントローラへ送信する。
回転動作の倍率(FRONT)	ここで指定された倍率分、プロセスから取得したシートのフロント回転動作のデータを倍にしてマイコンへ送信する。
スライド開始角度	回転動作を始める角度を指定します。

動作モード	動作に影響する軸
6 軸仕様	シート L、シート R
7 軸仕様	シート L、シート R、シート C、シート F
8 軸仕様	シート L、シート R、シート C、シート F、 BASE 動作モードが「リアスライド」の場合：車体 F、車体 R
ACSIM-LITE	シート C
ACSIM-MINI	シート L、シート R



## BASE 設定

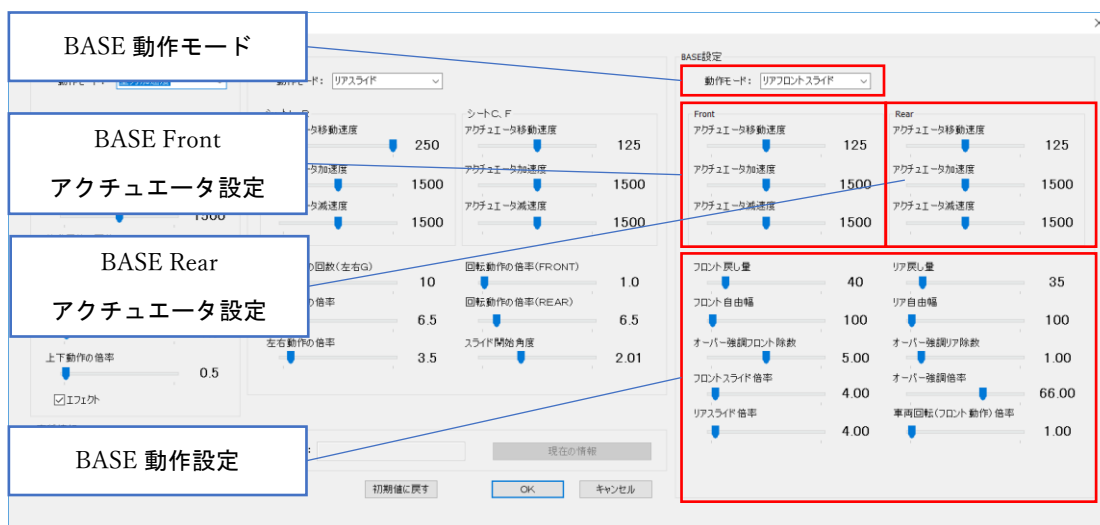


図 29 モーション設定ダイアログ

## BASE 用アクチュエータの種類

種類	内容
Front	BASE 前のアクチュエータ
Rear	BASE 後ろのアクチュエータ

シート動作モードは以下のようになっています。

動作モード	内容
動作させない	シートを動作させない。
リアスライド	リアスライド量によりシートを動作させる。
リアフロントスライド	オーバーステア、アンダーステアで動作させます。

BASE Front アクチュエータ設定は以下のようになっています。

動作設定	内容
アクチュエータの移動速度	アクチュエータを移動させる速度。
アクチュエータの加速度	アクチュエータが加速方向に動作する場合の加速度。
アクチュエータの減速度	アクチュエータが減速方向に動作する場合の減速度。

BASE Rear アクチュエータ設定は以下のようになっています。

動作設定	内容
アクチュエータの移動速度	アクチュエータを移動させる速度。
アクチュエータの加速度	アクチュエータが加速方向に動作する場合の加速度。
アクチュエータの減速度	アクチュエータが減速方向に動作する場合の減速度。

シート動作設定は以下のようになっています。

動作設定	内容
フロント戻し量	BASE Front アクチュエータの戻し動作に使用
フロント自由幅	BASE Front アクチュエータの自由幅
リア戻し量	BASE Rear アクチュエータの戻し動作に使用
リア自由幅	BASE Rear アクチュエータの自由幅
オーバー強調フロント除数	オーバーステア判定に使用
オーバー強調リア除数	オーバーステア判定に使用
フロントスライド倍率	BASE Front アクチュエータの動作設定
リアスライド倍率	BASE Rear アクチュエータの動作設定
オーバー強調倍率	オーバーステア判定に使用
車両回転（フロント動作）倍率	車両回転時の動作倍率

動作モード	動作に影響する軸
6軸仕様	該当なし
7軸仕様	該当なし
8軸仕様	車体 F、車体 R
ACSIM-LITE	該当なし
ACSIM-MINI	該当なし

### 12.3. 車種情報



図 30 モーション設定ダイアログ

「7. 車種別モーションを使用する」…P62 でモーション設定を行った場合に有効になる。

設定	内容
ソフト名	車種別でモーションを自動切り替えする場合の「ソフト名」を指定する。
車種名	車種別でモーションを自動切り替えする場合の「車種名」を指定する。
現在の情報ボタン	「現在の情報ボタン」押下で、現在起動しているソフト内で車種選択をしている場合に「ソフト名」「車種名」を自動で取得し、それぞれの項目へセットする。

## 13. 付録

### 13.1. 対応ソフト

対応ソフトと対応モーシヨンの一覧

ソフト名	対応モーシオン						ソフト 設定 (注8)
	車体		シート		BASE		
	重力 加速度	ロール・ ピッチ	リアス ライド	前後	リアフロン トスライド	リアス ライド	
rFactor	○	○	○	○	×	○	必要
rFactor2	○	○	○	○	○	○	必要
iRacing	○	○	○	○	×	○	—
Kart Racing Pro (release10b)	○	○	○	○	×	○	必要
Live for Speed	○	○	○	○	×	○	必要

---

(注8) 「13.2 ソフト連動設定」を参照

[STEAM] 対応ソフト

ソフト名	対応モーション						ソフト 設定 (注9)
	車体		シート		BASE		
	重力 加速度	ロール・ ピッチ	リアス ライド	前後	リアフロン トスライド	リアス ライド	
rFactor	○	○	○	○	×	○	必要
rFactor Demo	○	○	○	○	×	○	必要
rFactor 2	○	○	○	○	○	○	必要
rFactor 2 Demo	○	○	○	○	×	○	必要
Project C.A.R.S	○	○	○	○	×	○	必要
Project CARS 2	○	○	○	○	×	○	必要
Project CARS 3	○	○	○	○	×	○	必要
Project CARS - Pagani Edition	○	○	○	○	×	○	必要
RACE07	○	○	×	○	×	×	必要
RaceRoom Racing Experience	○	○	○	○	×	○	—
GTR2	○	○	○	○	×	○	必要
Assetto Corsa	○	○	○	○	×	○	—
Assetto Corsa Competizione	○	○	○	○	×	○	—
F1 2010	○	○	○	○	×	○	必要
F1 2011	○	○	○	○	×	○	必要
F1 2012	○	○	○	○	×	○	必要
F1 2013	○	○	○	○	×	○	必要
F1 2014	○	○	○	○	×	○	必要
F1 2015	○	○	○	○	×	○	必要
F1 2016	○	○	○	○	×	○	必要
F1 2017	○	○	○	○	×	○	必要
F1 2018	○	○	○	○	×	○	必要
F1 2019	○	○	○	○	×	○	必要
F1 2020	○	○	○	○	×	○	必要

(注9) 「13.2 ソフト連動設定」を参照

F1 2021	○	○	○	○	×	○	必要
DiRT2	○	○	○	○	×	○	必要
DiRT3	○	○	○	○	×	○	必要
DiRT4	○	○	○	○	×	○	必要
DiRT Rally	○	○	○	○	×	○	必要
DiRT Rally 2.0	○	○	○	○	×	○	必要
GRID	○	○	○	○	×	○	必要
GRID2	○	○	○	○	×	○	必要
GRID(2019)	○	○	○	○	×	○	必要
AUTOMOBILISTA	○	○	○	○	×	○	必要
AUTOMOBILISTA 2	○	○	○	○	×	○	必要
Euro Truck Simulator 2	○	○	○	○	×	○	必要
Microsoft FSX	○	○	○	○	×	○	必要
Kart Racing Pro (release10b)	○	○	○	○	×	○	必要
KartKraft	○	○	○	○	×	○	必要
Forza Horizon 4	○	○	○	○	×	○	必要
American Truck Simulator	○	○	○	○	×	○	必要
BeamNG.drive	○	○	○	○	×	○	必要

[DMM GAMES] 対応ソフト

ソフト名	対応モーション						ソフト 設定 (注10)
	車体		シート		BASE		
	重力 加速度	ロール・ ピッチ	リアス ライド	前後	リアフロン トスライド	リアス ライド	
アセットコレサ アルティメットエディション 日本語版	○	○	○	○	×	○	—

[Microsoft Store Windows PC 版]対応ソフト

ソフト名	対応モーション						ソフト 設定 (注11)
	車体		シート		BASE		
	重力 加速度	ロール・ ピッチ	リアス ライド	前後	リアフロン トスライド	リアス ライド	
Forza Horizon 4	○	○	○	○	×	○	必要
Forza Motorsport 7	○	○	○	○	×	○	必要

(注10) 「13.2 ソフト連動設定」を参照

(注11) 「13.2 ソフト連動設定」を参照

## 13.2. ソフト連動設定

モーションデータを取得するために、ソフト側の設定が必要になる場合があります。設定が必要なソフトの設定方法を記述します。

- **rFactor、rFactor (STEAM)、rFactor Demo (STEAM)**

plugin の導入が必要になります。

rFactor をインストールしたディレクトリの [Plugins] ディレクトリに【acsim\_pin\_rf1.dll】をコピーして下さい。

「8.5plugin のインストール」…P77 を参照

- **rFacotr2(Old Version)**

plugin の導入が必要になります。

rFactor2 をインストールしたディレクトリの [Plugins] ディレクトリに【acsim\_pin\_rf2.dll】をコピーして下さい。

「8.5plugin のインストール」…P77 を参照

- **rFacotr2( build 798 以上)、rFactor 2 (STEAM)、rFactor 2 Demo (STEAM)**

plugin の導入が必要になります。

32bit 版と 64bit 版の 2 種類の Plugin の導入が必要になります。

- ・ [32bit 版]

rFactor2 をインストールしたディレクトリの [Bin32/Plugins] ディレクトリに【acsim\_pin\_rf2.dll】をコピーして下さい。

- ・ [64bit 版]

rFactor2 をインストールしたディレクトリの [Bin64/Plugins] ディレクトリに【acsim\_pin\_rf2\_x64.dll】をコピーして下さい。

「8.5plugin のインストール」…P77 を参照



- **RACE07**

設定ファイルの変更が必要になります。

STEAM をインストールしたディレクトリの

[ドキュメント]/SimBin/Race 07/UserData/[ユーザー名]/[ユーザー名].plr(注12) を開き下記のように変更して下さい。

Write Shared Memory="0"

↓

Write Shared Memory="1"

- **GTR2 STEAM**

plugin の導入が必要になります。

STEAM をインストールしたディレクトリの

[SteamApps/common/GTR 2 -FIA GT Racing Game/]に[Plugins]ディレクトリを作成し、作成した[Plugins]ディレクトリに【acsim\_pin\_rf1.dll】をコピーして下さい。

「8.5plugin のインストール」…P77 を参照

---

(注12) ソフトを一度起動すると作成されます。

- **Project C.A.R.S**

ProjectC.A.R.S の設定変更が必要になります。

ProjectC.A.R.S を起動したメインダイアログにあるメニューの、

[Help&Options]→[Visuals]→[HARDWARE]→[Use Shared Memory]を ON に変更して下さい。

※ProjectCARS のバージョンアップの際 OFF に戻る事があるので注意して下さい。  
設定項目の場所も ProjectCARS のバージョンアップで変更になる可能性があります。

- **Project CARS2**

ProjectCARS2 の設定変更が必要になります。

ProjectCARS2 を起動したメインダイアログにあるメニューの、

[システム]→[共有メモリを使用]を「PROJECT CARS 1」 に変更して下さい。

- **Project CARS3**

ProjectCARS3 の設定変更が必要になります。

ProjectCARS3 を起動しメニューの、

[設定]—[システム]—[共有メモリを使用]を「PROJECT CARS 1」または「PROJECT CARS 2」 に変更して下さい。

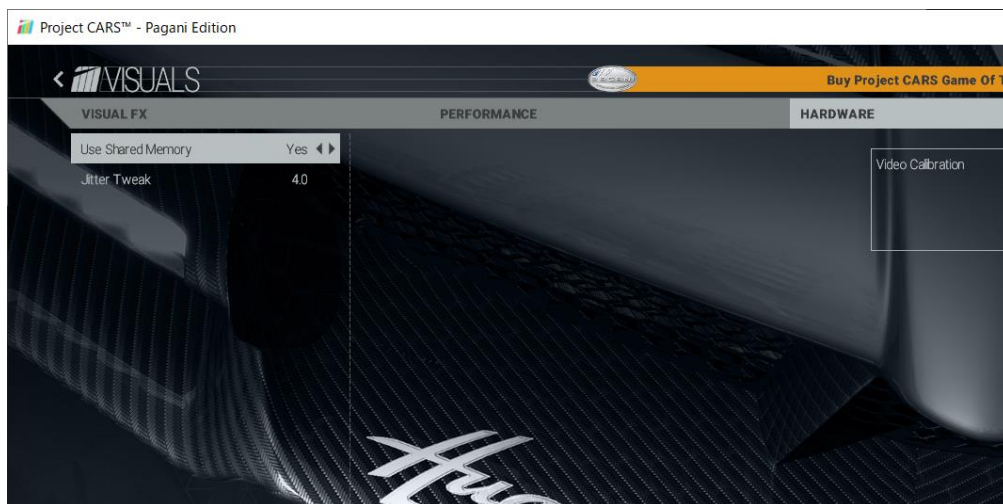


- **Project CARS - Pagani Edition**

Project CARS - Pagani Edition の設定変更が必要になります。

Project CARS - Pagani Edition を起動しメニューの、

[Option&Help]—[Visuals]—[HARDWARE]—[Use Shared Memory]を「Yes」に変更  
して下さい。



## ● ~~Assetto Corsa~~

~~plugin の導入が必要になります。~~

~~Assetto Corsa をインストールしたディレクトリの [apps/python/] に **【msACSIM】** ディレクトリを作成し、作成したディレクトリ [apps/python/msACSIM/] に **【msACSIM.py】** をコピーして下さい。~~

~~「8.5plugin のインストール」…P77 を参照~~

## ● F1 2010

F1 2010 の設定ファイルの変更、ポート番号の指定が必要になります。

### ・ F1 2010 の設定ファイルを変更

マイドキュメントの [My Games/FormulaOne/hardwaresettings/] にある

**【hardware\_settings\_config.xml】** (注13) ファイルを開き下記のように変更して下さい。

```
<motion enabled="true" ip="dbox" port="20777" delay="1" extradata="0"/>
```

↓

```
<motion enabled="true" ip="127.0.0.1" port="30777" delay="1" extradata="1"/>
```

### ・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に **【30777】** を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

---

(注13) ソフトを一度起動すると作成されます。

- **F1 2011**

F1 2011 の設定ファイルの変更、ポート番号の指定が必要になります。

- ・ F1 2011 の設定ファイルを変更

マイドキュメントの[My Games/FormulaOne2011/hardwaresettings/]にある

【hardware\_settings\_config.xml】(注14)ファイルを開き下記のように変更して下さい。

```
<motion enabled="true" ip="dbox" port="20777" delay="1" extradata="0"/>
```

↓

```
<motion enabled="true" ip="127.0.0.1" port="30777" delay="1" extradata="1"/>
```

- ・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に【30777】を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

- **F1 2012**

F1 2012 の設定ファイルの変更、ポート番号の指定が必要になります。

- ・ F1 2012 の設定ファイルを変更

マイドキュメントの[My Games/FormulaOne2012/hardwaresettings/]にある

【hardware\_settings\_config.xml】(注15)ファイルを開き下記のように変更して下さい。

```
<motion enabled="true" ip="dbox" port="20777" delay="1" extradata="0"/>
```

↓

```
<motion enabled="true" ip="127.0.0.1" port="30777" delay="1" extradata="1"/>
```

- ・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に【30777】を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

---

(注14) ソフトを一度起動すると作成されます。

(注15) ソフトを一度起動すると作成されます。

- **F1 2013**

F1 2013 の設定ファイルの変更、ポート番号の指定が必要になります。

- ・ F1 2013 の設定ファイルを変更

マイドキュメントの[My Games/FormulaOne2013/hardwaresettings/]にある

【hardware\_settings\_config.xml】(注16)ファイルを開き下記のように変更して下さい。

```
<motion enabled="true" ip="dbox" port="20777" delay="1" extradata="0"/>
```

↓

```
<motion enabled="true" ip="127.0.0.1" port="30777" delay="1" extradata="1"/>
```

- ・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に【30777】を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

- **F1 2014**

F1 2014 の設定ファイルの変更、ポート番号の指定が必要になります。

- ・ F1 2014 の設定ファイルを変更

マイドキュメントの[My Games/FormulaOne2014/hardwaresettings/]にある

【hardware\_settings\_config.xml】(注17)ファイルを開き下記のように変更して下さい。

```
<motion enabled="true" ip="dbox" port="20777" delay="1" extradata="0"/>
```

↓

```
<motion enabled="true" ip="127.0.0.1" port="30777" delay="1" extradata="1"/>
```

- ・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に【30777】を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

---

(注16) ソフトを一度起動すると作成されます。

(注17) ソフトを一度起動すると作成されます。

- **F1 2015**

F1 2015 の設定ファイルの変更、ポート番号の指定が必要になります。

- ・ F1 2015 の設定ファイルを変更

マイドキュメントの[My Games/F1 2015/hardwaresettings/]にある

**【hardware\_settings\_config.xml】** (注18)ファイルを開き下記のように変更して下さい。

```
<motion>
  <dbox enabled="true" />
  <udp enabled="false" ip="127.0.0.1" port="20777" />
  <udp enabled="false" ip="127.0.0.1" port="20777" />
  <udp enabled="false" ip="127.0.0.1" port="20777" />
  <udp enabled="false" ip="127.0.0.1" port="20777" />
</motion>
```

↓

```
<motion>
  <dbox enabled="false" />
  <udp enabled="true" ip="127.0.0.1" port="30777" />
  <udp enabled="false" ip="127.0.0.1" port="20777" />
  <udp enabled="false" ip="127.0.0.1" port="20777" />
  <udp enabled="false" ip="127.0.0.1" port="20777" />
</motion>
```

- ・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に **【30777】** を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

---

(注18) ソフトを一度起動すると作成されます。

- **F1 2016**

F1 2016 の設定ファイルの変更、ポート番号の指定が必要になります。

- ・ F1 2016 の設定ファイルを変更

マイドキュメントの[My Games/F1 2016/hardwaresettings/]にある

【hardware\_settings\_config.xml】(注19)ファイルを開き下記のように変更して下さい。

```
<motion>
  <dbox enabled="true" />
  <udp enabled="false" ip="127.0.0.1" port="20777" />
  <udp enabled="false" ip="127.0.0.1" port="20777" />
  <udp enabled="false" ip="127.0.0.1" port="20777" />
  <udp enabled="false" ip="127.0.0.1" port="20777" />
</motion>
```

↓

```
<motion>
  <dbox enabled="false" />
  <udp enabled="true" ip="127.0.0.1" port="30777" />
  <udp enabled="false" ip="127.0.0.1" port="20777" />
  <udp enabled="false" ip="127.0.0.1" port="20777" />
  <udp enabled="false" ip="127.0.0.1" port="20777" />
</motion>
```

- ・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に【30777】を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

---

(注19) ソフトを一度起動すると作成されます。



- **F1 2017**

F1 2017 の設定ファイルの変更、ポート番号の指定が必要になります。

- ・ F1 2017 の設定ファイルを変更

マイドキュメントの[My Games/F1 2017/hardwaresettings/]にある

**【hardware\_settings\_config.xml】** (注20)ファイルを開き下記のように変更して下さい。

```
<motion>  
<dbox enabled="true" />  
<udp enabled="false" broadcast="false" ip="127.0.0.1" port="20777" sendRate="20" />  
</motion>
```

↓

```
<motion>  
<dbox enabled="false" />  
<udp enabled="true" broadcast="false" ip="127.0.0.1" port="30777" sendRate="60" />  
</motion>
```

- ・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に **【30777】** を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

---

(注20) ソフトを一度起動すると作成されます。

- F1 2018

「ゲームオプション」－「設定」－「テレメトリ設定」の項目を下記のように設定してください。

項目	値
UDP テレメトリー	オン
UDP IP アドレス	127.0.0.1
UDP ポート	30777
UDP 送信速度	60Hz
UDP フォーマット	「レガシー」推奨 「レガシー」 or 「2018」



- F1 2019

「ホーム」 - 「ゲームオプション」 - 「設定」 - 「テレメトリ設定」の項目を下記のように設定してください。

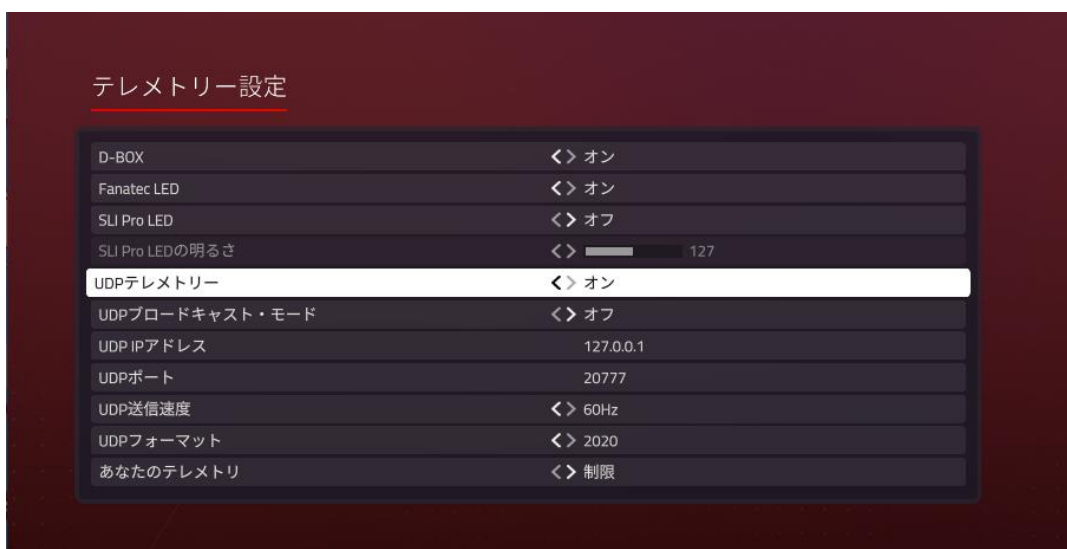
項目	値
UDP テレメトリー	オン
UDP IP アドレス	127.0.0.1
UDP ポート	30777
UDP 送信速度	60Hz
UDP フォーマット	「レガシー」推奨 「レガシー」 or 「2018」 or 「2019」



- F1 2020

「ホーム」－「ゲームオプション」－「設定」－「テレメトリ設定」の項目を下記のように設定してください。

項目	値
UDP テレメトリー	オン
UDP IP アドレス	127.0.0.1
UDP ポート	20777
UDP 送信速度	60Hz
UDP フォーマット	「レガシー」推奨 「レガシー」 or 「2018」 or 「2019」 or 「2020」



- **F1 2021**

「ホーム」－「ゲームオプション」－「設定」－「テレメトリ設定」の項目を下記のように設定してください。

項目	値
UDP テレメトリー	オン
UDP IP アドレス	127.0.0.1
UDP ポート	20777
UDP 送信速度	60Hz
UDP フォーマット	「2021」推奨 「レガシー」 or 「2018」 or 「2019」 or 「2020」 or 「2021」



- **DiRT2**

DiRT2 の設定ファイルの変更、ポート番号の指定が必要になります。

- ・ DiRT2 の設定ファイルを変更

マイドキュメントの[My Games/DiRT2/hardwaresettings/]にある

【hardware\_settings\_config.xml】(注21)ファイルを開き下記のように変更して下さい。

```
<motion enabled="true" ip="dbox" port="20777" delay="1" extradata="0"/>
```

↓

```
<motion enabled="true" ip="127.0.0.1" port="30777" delay="1" extradata="1"/>
```

- ・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に【30777】を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

- **DiRT3**

DiRT3 の設定ファイルの変更、ポート番号の指定が必要になります。

- ・ DiRT3 の設定ファイルを変更

マイドキュメントの[My Games/DiRT3/hardwaresettings/]にある

【hardware\_settings\_config.xml】(注22)ファイルを開き下記のように変更して下さい。

```
<motion enabled="true" ip="dbox" port="20777" delay="1" extradata="0"/>
```

↓

```
<motion enabled="true" ip="127.0.0.1" port="30777" delay="1" extradata="1"/>
```

- ・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に【30777】を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

---

(注21) ソフトを一度起動すると作成されます。

(注22) ソフトを一度起動すると作成されます。

- **DiRT4**

DiRT4 の設定ファイルの変更、ポート番号の指定が必要になります。

- ・ DiRT4 の設定ファイルを変更

マイドキュメントの[My Games/DiRT4/hardwaresettings/]にある

【hardware\_settings\_config.xml】(注23)ファイルを開き下記のように変更して下さい。

```
<motion_platform>
  <dbox enabled="true" />
  <udp enabled="false" extradata="0" ip="127.0.0.1" port="20777" delay="1" />
  <custom_udp enabled="false" filename="packet_data.xml" ip="127.0.0.1"
port="20777" delay="1" />
  <fanatec enabled="true" pedalVibrationScale="1.0" wheelVibrationScale="1.0"
ledTrueForGearsFalseForSpeed="true" />
</motion_platform>
```

↓

```
<motion_platform>
  <dbox enabled="false" />
  <udp enabled="true" extradata="1" ip="127.0.0.1" port="30777" delay="1" />
  <custom_udp enabled="false" filename="packet_data.xml" ip="127.0.0.1"
port="20777" delay="1" />
  <fanatec enabled="true" pedalVibrationScale="1.0" wheelVibrationScale="1.0"
ledTrueForGearsFalseForSpeed="true" />
</motion_platform>
```

- ・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に【30777】を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

---

(注23) ソフトを一度起動すると作成されます。

- **DiRT Rally**

DiRT Rally の設定ファイルの変更、ポート番号の指定が必要になります。

- ・ DiRT Rally の設定ファイルを変更

マイドキュメントの[My Games/DiRT Rally/hardwaresettings/]にある

【hardware\_settings\_config.xml】(注24)ファイルを開き下記のように変更して下さい。

```
<motion_platform>
  <dbox enabled="true" />
  <udp enabled="false" extradata="0" ip="127.0.0.1" port="20777" delay="1" />
  <fanatec enabled="true" pedalVibrationScale="1.0" wheelVibrationScale="1.0"
ledTrueForGearsFalseForSpeed="true" />
</motion_platform>
```

↓

```
<motion_platform>
  <dbox enabled="false" />
  <udp enabled="true" extradata="1" ip="127.0.0.1" port="30777" delay="1" />
  <fanatec enabled="true" pedalVibrationScale="1.0" wheelVibrationScale="1.0"
ledTrueForGearsFalseForSpeed="true" />
</motion_platform>
```

- ・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に【30777】を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

---

(注24) ソフトを一度起動すると作成されます。



- **DiRT Rally 2.0**

DiRT Rally の設定ファイルの変更、ポート番号の指定が必要になります。

- ・ DiRT Rally の設定ファイルを変更

マイドキュメントの[My Games/DiRT Rally 2.0/hardwaresettings/]にある

【hardware\_settings\_config.xml】(注25)ファイルを開き下記のように変更して下さい。

```
<motion_platform>
  <dbox enabled="true" />
  <udp enabled="false" extradata="0" ip="127.0.0.1" port="20777" delay="1" />
  <custom_udp enabled="false" filename="packet_data.xml" ip="127.0.0.1"
port="20777" delay="1" />
  <fanatec enabled="true" pedalVibrationScale="1.0" wheelVibrationScale="1.0"
ledTrueForGearsFalseForSpeed="true" />
</motion_platform>
```

↓

```
<motion_platform>
  <dbox enabled="false" />
  <udp enabled="true" extradata="1" ip="127.0.0.1" port="30777" delay="1" />
  <custom_udp enabled="false" filename="packet_data.xml" ip="127.0.0.1"
port="20777" delay="1" />
  <fanatec enabled="true" pedalVibrationScale="1.0" wheelVibrationScale="1.0"
ledTrueForGearsFalseForSpeed="true" />
</motion_platform>
```

- ・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に【30777】を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

---

(注25) ソフトを一度起動すると作成されます。

- **GRID**

GRID の設定ファイルの変更、ポート番号の指定が必要になります。

- ・ GRID の設定ファイルを変更

マイドキュメントの[Codemasters/GRID/hardwaresettings/]にある

【hardware\_settings\_config.xml】(注26)ファイルを開き下記のように変更して下さい。

```
<motion enabled="false" ip="127.0.0.1" port="20777" delay="1" extradata="0"/>
```

↓

```
<motion enabled="true" ip="127.0.0.1" port="30777" delay="1" extradata="1"/>
```

- ・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に【30777】を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

- **GRID2**

GRID2 の設定ファイルの変更、ポート番号の指定が必要になります。

- ・ GRID2 の設定ファイルを変更

マイドキュメントの[My Games/GRID 2/hardwaresettings/]にある

【hardware\_settings\_config.xml】(注27)ファイルを開き下記のように変更して下さい。

```
<motion enabled="true" ip="dbox" port="20777" delay="1" extradata="0"/>
```

↓

```
<motion enabled="true" ip="127.0.0.1" port="30777" delay="1" extradata="1"/>
```

- ・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に【30777】を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

---

(注26) ソフトを一度起動すると作成されます。

(注27) ソフトを一度起動すると作成されます。

- **GRID(2019)**

GRID(2019)の設定ファイルの変更、ポート番号の指定が必要になります。

- ・ GRID(2019)の設定ファイルを変更

マイドキュメントの[My Games/ GRID (2019)/hardwaresettings/]にある

【hardware\_settings\_config.xml】(注28)ファイルを開き下記のように変更して下さい。

```
<motion_platform>
<dbox enabled="true"/>
<udp enabled="false" delay="1" port="20777" ip="127.0.0.1" extradata="0"/>
```

↓

```
<motion_platform>
<dbox enabled="true"/>
<udp enabled="true" delay="1" port="20777" ip="127.0.0.1" extradata="1"/>
```

- ・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に【20777】を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

---

(注28) ソフトを一度起動すると作成されます。

- **Kart Racing Pro(release10b)**

plugin の導入が必要になります。

Kart Racing Pro をインストールしたディレクトリの [Plugins] ディレクトリに【acsim\_pin\_krp\_x64.dll】をコピーし、名称を【acsim\_pin\_krp\_x64.dlo】に変更して下さい。

「8.5plugin のインストール」…P77 を参照

- **AUTOMOBILISTA**

plugin の導入が必要になります。

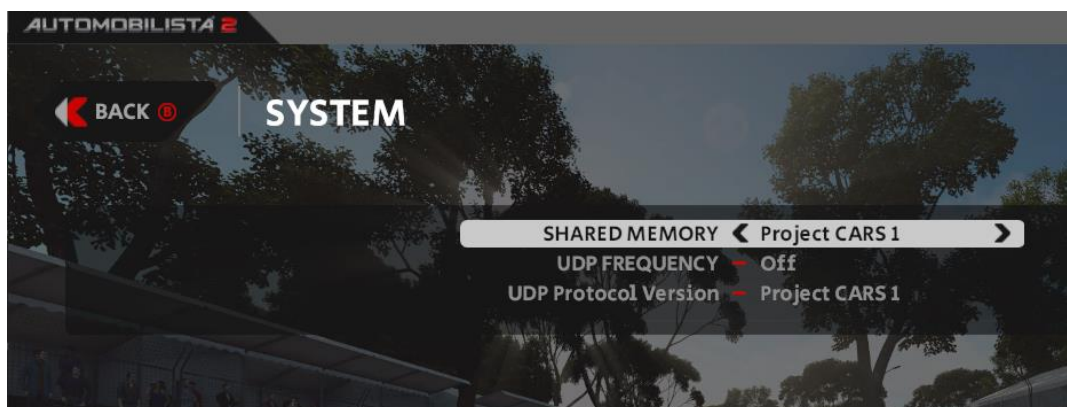
AUTOMOBILISTA をインストールしたディレクトリの [Plugins] ディレクトリに【acsim\_pin\_rf1.dll】をコピーして下さい。

「8.5plugin のインストール」…P77 を参照

- **AUTOMOBILISTA 2**

「OPTIONS」 – 「SYSTEM」の項目を下記のように設定してください。

項目	値
SHARED MEMORY	Project CARS 1



- **Euro Truck Simulator 2**

plugin の導入が必要になります。

32bit 版と 64bit 版の 2 種類の Plugin の導入が必要になります。

- ・ [32bit 版]

Euro Truck Simulator2 をインストールしたディレクトリの [bin/win\_x86/Plugins] ディレクトリに **【acsim\_pin\_uts2.dll】** をコピーして下さい。

- ・ [64bit 版]

Euro Truck Simulator2 をインストールしたディレクトリの [bin/win\_x64/Plugins] ディレクトリに **【acsim\_pin\_uts2\_x64.dll】** をコピーして下さい。

「8.5plugin のインストール」…P77 を参照

- **Microsoft FSX**

sim connect のインストールが必要になります。

Microsoft FSX をインストールしたディレクトリの [SDK/Core Utilities Kit/SimConnect SDK/lib]ディレクトリにあるインストーラー **【SimConnect.msi】** を実行して SimConnect のインストールを行ってください。

Microsoft FSX(Steam)の標準インストールディレクトリは下記になります。

[C:¥ Program Files (x86) /Steam/steamapps/common/FSX]

- **Live for Speed**

Live for Speed の設定ファイルの変更、ポート番号の指定が必要になります。

- ・ Live for Speed の設定ファイルを変更

Live for Speed のインストールディレクトリにある【cfg.txt】(注29)ファイルを開き下記のように変更して下さい。

OutSim Mode 1

OutSim Delay 1

OutSim IP 127.0.0.1

OutSim Port 20888

OutSim ID 0

- ・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に【20888】を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

- **KartKraft**

[SETTINGS]—[ゲーム]—[TELEMETRY]の設定を下記のように設定してください。

項目	値
UDP OUTPUT	ON
PORT	5000



---

(注29) ソフトを一度起動すると作成されます。

● **Forza Horizon 4**

「ForzaHorizon4」を起動し[Esc]キー押下で表示されるメニューにて、  
[設定]—[画面表示とゲームプレイ]の設定を下記のように設定してください。

項目	値
データ出力	オン
データ出力 IP アドレス	127.0.0.1
データ送信 IP ポート	30777



・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に【30777】を指定して下さい。

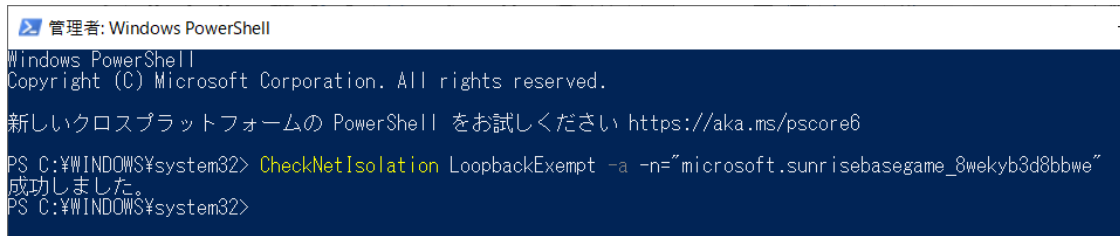
「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

※Microsoft Store Windows PC 版の場合

PowerShell にて下記コマンドを発行してください。(ループバックアドレスへのアクセスを許可します)

PowerShell の起動方法は「13.3 PowerShell」…P122 を参照してください。

CheckNetIsolation LoopbackExempt -a -n="microsoft.sunrisebasegame\_8wekyb3d8bbwe"



● Forza Motorsport 7

「Forza Motorsport7」を起動し[Esc]キー押下で表示されるメニューにて、  
[オプション]—[HUD]の設定を下記のように設定してください。

項目	値
データアウト	オン
データアウト IP アドレス	127.0.0.1
データアウト IP ポート	30777
データ出力パッケージフォーマット	SLED



・ ポート番号の指定

上記の設定後、設定でポート番号に【30777】を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

※Microsoft Store Windows PC 版の場合

PowerShell にて下記コマンドを発行してください。(ループバックアドレスへのアクセスを許可します)

PowerShell の起動方法は「13.3 PowerShell」…P122 を参照してください。

CheckNetIsolation LoopbackExempt -a -n="microsoft.apollobasegame\_8wekyb3d8bbwe"





- **American Truck Simulator**

plugin の導入が必要になります。

32bit 版と 64bit 版の 2 種類の Plugin の導入が必要になります。

- ・ [32bit 版]

American Truck Simulator をインストールしたディレクトリの [bin/win\_x86/Plugins] ディレクトリに **【acsim\_pin\_uts2.dll】** をコピーして下さい。

- ・ [64bit 版]

American Truck Simulator をインストールしたディレクトリの [bin/win\_x64/Plugins] ディレクトリに **【acsim\_pin\_uts2\_x64.dll】** をコピーして下さい。

「8.5plugin のインストール」…P77 を参照

※コピーする dll は Euro Truck Simulator2 と共通となります。

- **BeamNG.drive**

[Esc]キー押下で表示されるメニューにて、

[オプション]—[その他]の設定を下記のように設定してください。

項目	値
モーションシミュレータが有効です	チェックを付ける
IP	127.0.0.1
Port	30777



- ・ ポート番号の指定

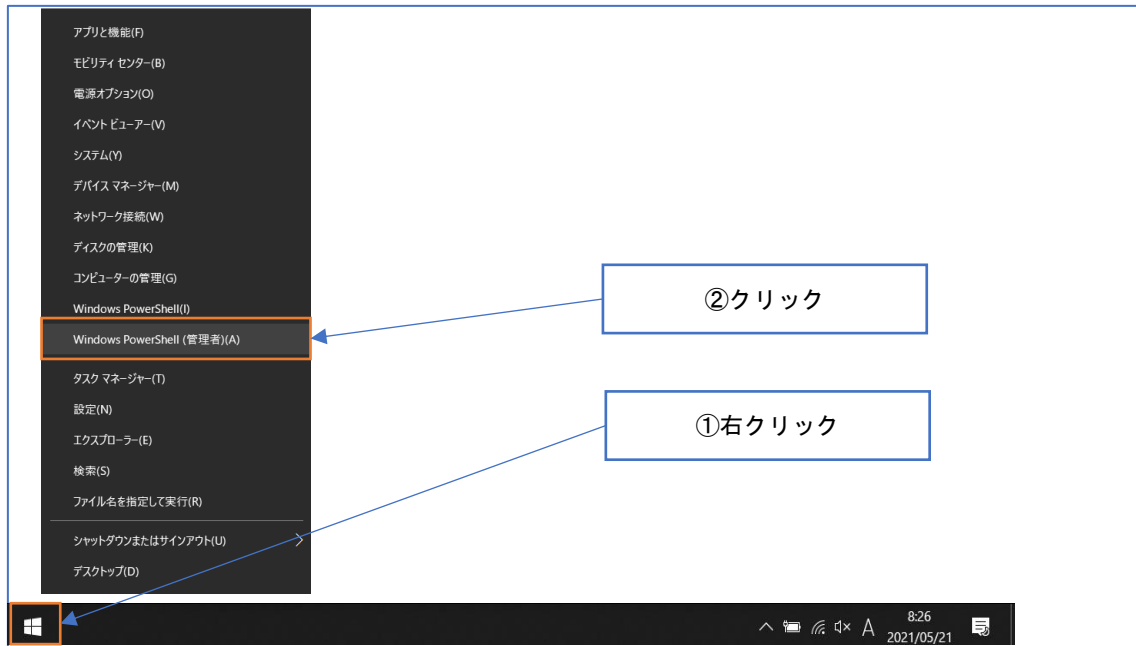
上記の設定後、設定でポート番号に **【30777】** を指定して下さい。

「5. Soft 設定」…P59 を参照して下さい。

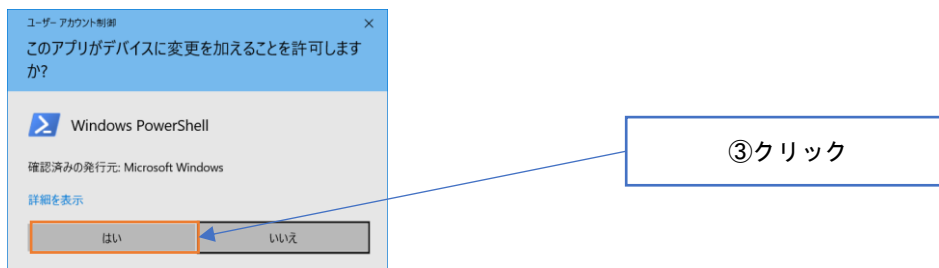
### 13.3. PowerShell

#### 13.3.1. 起動方法

スタートメニューを右クリックし、「Windows PowerShell(管理者)」をクリックしてください。



ユーザーアカウント制御ダイアログが表示された場合「はい」をクリックしてください。



## 13.4. セキュリティ

各プログラムがデフォルトで下記のプロトコル、ポートを使用します。

セキュリティソフト、ルーター等でファイアウォールを使用されている場合、下記の通信が通過できるように設定して下さい。設定方法に関しては、セキュリティソフト、ルーター等の取扱い説明書を参照して下さい。

### 制御プログラム（必須）

プログラム	内容	プロトコル	ポート
ACSIM.exe	制御ソフト	UDP	20777、30777

### オプションに付属するプログラム

プログラム	内容	プロトコル	ポート
RMSServer.exe	リモートサーバー	TCP	49999
RMSClient.exe	リモートクライアント	TCP	49999
AccessSimDriver.exe	GT用ドライバ	UDP	33339、33340